

55歳
以上
の方限定

令和6年度
前期受講生

大学の開放授業講座 受講生募集案内

埼玉県では以下の大学で
様々な分野の授業を開放
しています。
一般の学生と一緒に学ん
でみませんか。



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」

【実施大学】

聖学院大学
(上尾市)

日本薬科大学
(伊奈町)

東京国際大学
(川越市)

埼玉県立大学
(越谷市)

文教大学
(越谷市)

埼玉大学
(さいたま市桜区)

城西大学
(坂戸市)

西武文理大学
(狭山市)

十文字学園女子大学
(新座市)

東京電機大学・大学院
(鳩山町)

埼玉工業大学
(深谷市)

東都大学
(深谷市)

文京学院大学
(ふじみ野市)

日本工業大学
(宮代町)

淑徳大学
(三芳町)

日本社会事業大学
(東京都清瀬市)

～ 目 次 ～

【共通事項】

共通事項 2 ページ

【各大学のページ】

聖学院大学（上尾市） 4 ページ

日本薬科大学（伊奈町） 7 ページ

東京国際大学（川越市） 10 ページ

埼玉県立大学（越谷市） 13 ページ

文教大学（越谷市） 17 ページ

埼玉大学（さいたま市桜区） 21 ページ

城西大学（坂戸市） 23 ページ

西武文理大学（狭山市） 31 ページ

十文字学園女子大学（新座市） 36 ページ

東京電機大学・大学院（鳩山町） 40 ページ

埼玉工業大学（深谷市） 45 ページ

東都大学（深谷市） 49 ページ

文京学院大学（ふじみ野市） 52 ページ

日本工業大学（宮代町） 55 ページ

淑徳大学（三芳町） 58 ページ

日本社会事業大学（東京都清瀬市） 61 ページ

【巻末資料】

大学別・科目別一覧表 64 ページ

【協定大学一覧】 66 ページ

共通事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各大学にてマスク着用、入室前のアルコール消毒等をお願いする場合があります。また、受講方法が変更となる場合があります。詳しくは、各大学にお問合せください。

1 大学の開放授業講座について

県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内・近隣にキャンパスを構える23大学が協力し、授業科目の一部を開放いたします。また、授業は一般の学生と一緒にいきます。

「学ぶこと」に意欲あふれる元気な皆様の積極的なお申込みをお待ちしております。

2 応募資格

県内在住で昭和44年4月1日以前に生まれた方

3 授業科目・担当教官・定員・受講料など

各大学のページまたは巻末の「大学別・科目別一覧表」をご覧ください。受講科目の概要については各大学のページに掲載しています。講義内容の詳細をお知りになりたい場合は、各大学へ直接お問い合わせください。

時間割などについて変更があった場合は、県専用ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

●県専用ホームページURL

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/4-rikarento.html>

埼玉県 大学の開放授業講座

検索 

4 単位等

単位は認定されません。

5 申込期間

令和6年2月1日から各大学が指定する締切日まで

6 申込先・方法

各大学のページをご確認の上、各大学が指定する申込み方法により、直接申し込んでください。

7 個人情報について

個人情報につきましては、各大学において適正な管理と保護に努めております。申込み時に記入していただいた個人情報については、各大学において、本開放授業講座に関すること、申込みに付随する統計処理に関すること、実施する行事等の案内に関すること以外の目的には使用いたしません。

8 通学について

原則として、公共交通機関やスクールバスにより通学してください。

※大学によっては自家用車による通学が可能な場合があります。詳しくは各大学のページをご確認ください。

9 受講について

各大学の規則に反した場合は、受講をお断りする場合があります。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

実施時期	科目名	曜日・時 限	授業時間	定員
【大学】 2024年度 春学期 (4月～7月)	法学	調整中		若干名
	文化交流史 (アジアと日本)	木曜3限 木曜4限	13:00～14:30 15:20～16:50	若干名
	精神保健福祉制度論	火曜5限	17:00～18:30	若干名
	福祉心理学	月曜4限	14:40～16:10	若干名

※ 授業回数について

◇週1回授業 (15回)

精神保健福祉制度論、福祉心理学

◇週2回授業 (30回・週1回2時限連続を含む)

法学、文化交流史 (アジアと日本)

※ 受講人数により開講しない場合がございます。

※ 学事スケジュールの都合により一部授業日等変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 授業は4月11日(木)から開始します。

(2) 場 所

聖学院大学キャンパス

JR 高崎線宮原駅から徒歩15分、または学生バス

JR 埼京・川越線西大宮駅から学生バス

JR 埼京・川越線日進駅から徒歩15分

※学生バスは利用券を購入いただきます。

※車での通学はできません。

【宮原駅西口(高崎線)のりば】



【西大宮駅西口(埼京・川越線)のりば】



2 受講料等

- (1) 受講料 週1回科目 5,000円
週2回科目 10,000円

※ 受講料は、後日指定方法にて納入いただきます。

※ 一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月1日（金）消印有効

- (2) 申込先 〒362-8585 上尾市戸崎1-1
聖学院大学 学務部教育支援課 リカレント教育係
電話：048-780-1801
E-mail：acadaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

- (3) 申込方法

E-mail または はがきにて、以下の事項をもれなく記入のうえ、お申し込みください。

- ① 郵便番号、住所、電話番号
- ② 氏名
- ③ ふりがな
- ④ 年齢（令和6年4月1日現在）
- ⑤ 生年月日
- ⑥ 性別
- ⑦ 受講希望科目（希望順に記入、何科目でも可）

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
（受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。）

(5) その他

受講許可科目、ガイダンス日時等は3月20日前後にお知らせいたします。
 その際に、個人調書等のご提出をご案内いたします。
 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。

社会情勢(感染症等)ならびに授業担当者の都合により、授業の一部をオンラインにて受講いただく可能性がございます。その場合は、大学ではなくご自宅等での受講となりますので、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。通信料などは受講者負担です。

以上の点につきましても、予めご了承の上でお申し込みくださいますようお願いいたします。

オンライン授業を受講いただく際に必要となる操作につきましては、大学ホームページ(※)に説明動画を掲載しておりますので、併せてご確認ください。

(※)

https://www.seigakuin.jp/events/ll_learn/

上記 URL 内「大学によるリカレント教育」をご参照ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>法学 【渡辺 英人】</p>	<p>「法を守る精神・法令遵守と責任」 「法学」では、みなさんが市民社会に参加するために必要な「ルールと手続き」について学びます。法は人と人が社会の中でいかに上手く生活していくか、という目的のために存在します。いまから法の意味と目的をよく理解し、責任ある個人、良き市民として、社会に参加してください。将来、どのような職業に就いても、この授業で学んだ内容が、必ず役に立ちます。講義内容の中心は「法の概念」「市民社会の法」「消費者と法」「知的財産権」などです。</p>
<p>文化交流史 (アジアと日本) 【濱田 寛】</p>	<p>宝暦十二年版本『唐大和上東征伝』の講読形式による講義を行う。</p>
<p>精神保健福祉制度論 【相川 章子】</p>	<p>①精神障害者に関する制度・施策の理解 ②精神障害者の医療に関する制度” ③精神障害者の生活支援に関する制度支援に関する制度 ④精神障害者の経済的支援に関する制度的支援に関する制度</p>
<p>福祉心理学 【未定】</p>	<p>講義の前半では、主に援助者に起こっていることについて心理学側面から学び、後半では福祉現場において、援助者・被援助者・援助場面に起こりうることについて具体例を紹介し、各事例の心理社会的課題や支援について解説し、受講者と共に対人援助について考えていきたい。また、話題に上ることの多い虐待・DV、高齢者支援、貧困がもたらす心理状態と課題、障害とソーシャル・インクルージョン、セルフヘルプグループなどについては、心理的側面から詳細に述べていきたい。ほぼ毎回受講者間でのグループディスカッションを通して 学びを深めていく予定である。</p>

1 講義名・定員など

(1) 講義科目 (前期)

科目名	担当	曜日	時限	定員	備考
生活の化学 (医療ビジネス薬科学科1年) *対面とオンラインの併用です	高山 博之	火	2限	若干名	1限 9:15~10:45 2限 11:00~12:30 3限 13:30~15:00 4限 15:15~16:45 5限 17:00~18:30
生活環境と健康 (薬学科2年)	村橋 毅	金	1限		
食品と健康 (薬学科3年)	樋口 敏幸	水	2限		

※前期の講義は4月上旬から開始します。

※講義は新型コロナウイルス感染状況への対応ならびに講義担当者の都合によりオンライン講義（オンデマンド配信）に変更される場合があります。その際は、ご自宅等での受講となりますので、パソコン、タブレット等インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境が必要となります。

※オンライン授業の視聴期間は配信日より1週間です。

※補足資料はメールでお送りします。ご自身でダウンロードし印刷してください。

☆下記注意事項をご確認の上、お申し込みください。

- | |
|--|
| <p>① 講義科目、曜日、授業時間、担当教員は現時点での予定につき、変更になることがございます。</p> <p>② 講義で使用する教科書は追ってお知らせします。書店等を通じて各自ご購入下さい。</p> |
|--|

■受講案内、講義日程等の詳細については、3月20日（水）前後に文書（郵送）にて申込者全員にお知らせします。

(2) 場所

日本薬科大学
〒362-0806
埼玉県北足立郡伊奈町
小室10281

[アクセス方法]

JR大宮駅から埼玉新都市交通「ニューシャトル」で約18分、志久駅下車、東門まで徒歩7分。

JR上尾駅または蓮田駅からスクールバスまたは路線バス（けんちゃんバス）で約15分。日本薬科大学前バス停下車



※駐車場のご用意が出来ませんので公共の交通機関での来学をお願いいたします。

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき10,000円
（ガイダンス当日、教務課横の券売機にて『開放講座受講料』証紙をご購入ください）
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月8日（金）（消印有効）
- (2) 申込先

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281
日本薬科大学 地域連携室・開放授業講座係 西村 恵美子
電話：048-721-6249（直通）
FAX：048-721-7305

(3) 申込方法

郵便はがきに以下の事項を**もれなく**記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 「大学の開放授業講座受講申込み」と明記
- (2) 郵便番号・住所
- (3) 氏名
ふりがな
- (4) 性別
- (5) 年齢（令和6年4月1日現在）
- (6) 電話番号
- (7) 受講希望科目・担当教員名

(4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
 ※受講の可否、受講決定科目は3月20日（水）前後に申込者全員にお知らせします。

(5) その他

ガイダンス日程等については、4月上旬を予定しています。
 申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

4 各講義科目の概要及び担当教員

<p>生活の化学 (高山 博之 准教授)</p>	<p>身の回りにある化学製品の成り立ちを理解することを通して、化学の基本的知識を学習します。われわれの身の回りは、化学製品であふれています。代表的な生活用品の作成方法やその性質等を理解することが、毎日の生活に潤いを与えます。製品の成分や成り立ちを説明しながら、化学の基礎的原理を講述します。</p>
<p>食品と健康 (樋口 敏幸 教授)</p>	<p>食品が健康に与える影響を科学的に理解するために、栄養と食品機能、食品衛生に関する基本的事項を学習します。我々は、多様な食品を利用することができますが、食品の製造、管理、保存などが不適切であると様々な疾病につながります。それゆえ、食の安全性を確保することは健康な生活を営む上で重要です。本講義「食品と健康」では、食品の変質とその防止策、食品添加物、特別用途食品、保健機能食品、遺伝子組み換え食品など様々な食品の用途や食品衛生に関する法的規制などを学びます。また、食品由来の発がん物質、化学物質による食品汚染とその健康影響、食中毒の原因とその予防法等、食品による疾病の予防についての基礎知識を学習します。</p>
<p>生活環境と健康 (村橋 毅 教授)</p>	<p>生活環境や生態系を保全できるようになるために、環境汚染物質などの成因、現状、ヒト及び生態系への影響、測定法、対策などに関する基本的知識を中心に学びます。特に地球環境、地域の環境、生活環境について環境が悪化する原因と現状、保全の方法のほか、ヒトだけでなく生態系への影響についても学習します。</p>

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

授業科目名	担当教員	授業期間	曜日	時限	開講キャンパス
社会福祉概論	松本 すみ子	4/2 (火) ~7/5 (金)	火・金	4	川越第1キャンパス

*授業科目、曜日・時限については、令和6年(2024年)1月時点での予定で、変更になる場合があります。

*授業時間は下記のとおりとなります。

4時限 15:10~16:50

*受講前の3月下旬頃にガイダンスを行います。

*定員は若干名です。

(2) キャンパス案内

<川越第1キャンパス>

東武東上線「霞ヶ関」駅下車南口 徒歩約5分 / JR川越線「的場」駅下車 徒歩約13分

※受講の際は公共交通機関(電車)をご利用ください。自動車での通学はできません。



2 受講料等

- (1) 受講料 10,000 円
- (2) その他 教材費は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月8日(金) (必着)

- (2) 申込先

〒350-1197 埼玉県川越市の場北1-13-1

東京国際大学 第1キャンパス 教務課 リカレント教育担当：関口・高田

TEL 049-277-5946・5889 FAX 049-234-8319

E-mail lkyoumu@tiu.ac.jp

- (3) 申込方法

はがき、FAX、E-mail のいずれかにより、以下の事項①～⑦を漏れのないよう記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号、住所
- ②氏名、フリガナ
- ③生年月日、年齢 (令和6年4月1日時点での年齢)
- ④性別
- ⑤電話番号
- ⑥メールアドレス (お持ちの方)
- ⑦受講希望科目名、担当教員名

- (4) その他

受講許可科目、ガイダンス実施日時等は、3月中旬頃郵送にてお知らせいたします。

申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。受講前に申し出いただいた場合は、受講料はいただきません。

4 各授業科目の概要及び担当教員

社会福祉概論 (松本 すみ子 教授)	<p>社会福祉の基礎を学ぶ、入門の科目です。</p> <p>福祉は介護のみにとどまりません。今日の日本における社会福祉の諸問題は、高齢者や障害のある人、子どもや家族をはじめ、医療、雇用・就労、地域など私たちの生活全般に及んでいます。昨今は、教育現場（学校）でも多様な福祉課題をもつ児童・生徒が増えています。こうした社会福祉課題が何を背景として発生しているのか。それに対して、どのような社会資源（制度やサービス）や専門職がサポートをしているのか。その解決や予防に向けた対策にはどのようなものがあり、効果や限界点は何かなどについて基本的な理解を積み上げた上で、こうした社会福祉課題の解決や予防に向けた効果的な対策について考察を深めていきます。また、自分の関心あるテーマを選びレポートを作成します。そのことで、覚える力に加え、考える力、それをわかりやすく伝える（表現）する力、学んだ知識を活かす力も涵養します。シラバス（後日配布）に提示した以外にも、受講生のリクエストに応じたいと思います。</p> <p>尚、担当教員は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士の国家資格を有し、医療機関でのソーシャルワーカーとしての実践経験を持っています。また、准認定ファンドレジャーの資格を有しており、NPO を運営しています。これらの経験を基に、事例などを用いながらわかりやすく講義をしていきます。</p>
-----------------------	---

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	時限 (注)	授業期間	回数	定員
公的扶助論	大岡 華子	火	2 限	4/9～7/23	14	若干名
高齢者福祉論	小川 孔美	水	4 限	4/10～7/31	15	若干名
生活と障害	松尾 彰久	水	5 限	4/10～6/5	8	若干名
ソーシャルワーク 概論 I	保科 寧子	木	5 限	4/11～7/25	14	若干名

(注) 時限・授業時間

1 限： 9：00～10：30

2 限：10：40～12：10

3 限：13：00～14：30

4 限：14：40～16：10

5 限：16：20～17：50

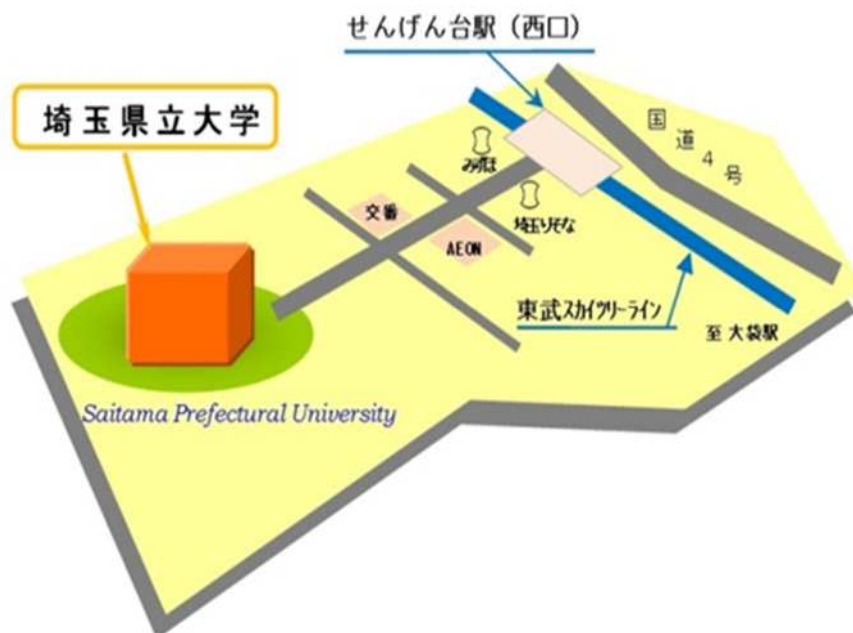
- ※ 科目、曜日、授業時間等は都合により変更になる可能性がございます。
- ※ すべての科目が**対面授業**となります。
- ※ すべての科目でインターネット授業支援システム「Webclass」(注)を利用し、授業に関する連絡(資料配布・課題のお知らせ・レポート提出等)を行う場合があります。
- ※ ソーシャルワーク概論 I の受講について
講義中に「Webclass」を使用します。
出席確認、講義中の課題への解答、資料閲覧に必要ですのでタブレットやノートパソコンなどネットにアクセスできるものを持参してください。
なお、タブレット・ノートパソコンの基本的な操作についてのお問い合わせはお受けできません。
- ※ 成績評価はいたしません。よって、学期末試験を受験する必要はありません。

(注) WebClass とは、本学で導入している e ラーニングシステム(学習支援システム)です。授業の教材・資料の閲覧やアンケート・レポート提出等に利用します。

(2) 場所

埼玉県立大学 〒343-8540 越谷市三野宮 820 番地
 東武スカイツリーライン「せんげん台駅」下車
 西口よりバス：5分 徒歩：約20分

※ 自家用車、バイク等による通学は許可できません。



2 受講料等

(1) 受講料

- ・各科目毎に授業料が必要となります。
- ・受講料は各科目の受講回数により異なります。
- ・受講料は受講決定後に振込となります。※振込手数料は別途かかります。

科目名	受講料	受講回数
公的扶助論	10,000円	14
高齢者福祉論	10,000円	15
生活と障害	6,000円	8
ソーシャルワーク概論 I	10,000円	14

(2) その他 教科書等の教材を自己負担によりご用意いただく場合があります。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和6年2月29日(木) (郵送の場合消印有効)

(2) 申込先

〒343-8540

越谷市三野宮 820 番地

埼玉県立大学 地域産学連携センター

FAX 048-973-4807

TEL 048-973-4114

(3) 申込方法

次のどちらかの方法にてお申込みください。

1) 官製はがき、または FAX にて、以下の事項をもれなく記入の上、お申込みください。

- ① タイトル：開放授業講座（リカレント教育事業）
- ② 氏名（ふりがな）
- ③ 年齢（令和6年4月1日現在）
- ④ 郵便番号・住所
- ⑤ 電話番号（日中連絡が可能な番号）
- ⑥ メールアドレス（無い場合は「なし」とご記入ください）
- ⑦ 受講希望の科目名

※複数ある場合は、受講希望する科目すべてをご記入ください。

2) 応募フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/1f2880ed223765>



(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。)

(5) その他

- ① 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は3月29日（金）までにご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ② 天候や社会情勢等により、受講方法が変更となる場合があります。変更が生じた場合、受講者へ個別にご連絡いたします。
現時点において、対面形式での実施を予定している講座について、中止または Zoom 等オンライン形式により実施する可能性もございます。
オンライン形式の場合、大学ではなくご自宅等において受講頂くこととなりますので、パソコン、タブレット等のインターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合、受講ができません。ご自宅等で受講いただく場合の通信料は、受講者本人の負担となります。
中止または受講方法の変更により受講できなくなった場合に限り受講料をお返しいたします。
- ③ 本学では、病院等への実習を控えた学生もいることから、マスクの着用を推奨とさせていただきます。ご協力ください。

4 授業科目の概要

<p>公的扶助論 (大岡 華子 准教授)</p>	<p>公的扶助は、貧困状態に陥った人々の最低限度の生活を保障する制度であり、社会保障制度の重要な一つの分野として、社会保険や社会福祉とともに重要な役割を果たしている。わが国の場合には、生活保護制度がこれに該当する。生活保護制度は、その目的の憲法 25 条に規定する理念に基づくものであり、生存権を保障することが明記されている。</p> <p>本科目では、貧困・低所得者問題とは何か、公的扶助制度の歴史、生活保護制度の仕組みや動向・課題などについて講義する。また、低所得者に対する支援制度（生活福祉資金等）等についても紹介する。</p>
<p>高齢者福祉論 (小川 孔美 准教授)</p>	<p>総人口が減少するなか、高齢者の増加により高齢化率が上昇を続け、2035 年に 33.4%で 3 人に 1 人、2060 年には 39.9%に達し、国民の約 2.5 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となる社会の到来が推計されている。この現実が突き付けてくる様々な課題を、正確にとらえ、これからの社会福祉、制度、政策や人々の生活を支援することについて多方面から考える必要がある。</p> <p>この科目では、とりわけ高齢者の身体的・精神的・社会的特徴や生活実態と社会情勢、福祉・介護について理解を深め、わが国における高齢者福祉制度の発展過程を学ぶ。さらに、相談援助活動に必要となる介護保険制度や主な高齢者福祉・介護に係る他の法制度について、高齢者やその家族を支えるための介護サービス等の支援と関連づけながら学習する。</p>
<p>生活と障害 (松尾 彰久 准教授)</p>	<p>障がい体験の経験から、また、国際生活機能分類の特徴を学ぶことで、人の生活と障害の関係性を包括的に理解できるようにします。基本的に WebClass からの授業になります。</p>
<p>ソーシャルワーク概論 I (保科 寧子 准教授)</p>	<p>ソーシャルワークと呼ばれる専門的援助実践の実情や役割および機能、多様な実践の共通課題等を学ぶことを通じて、その背景を理解し、専門的援助者としての視点の涵養をはかる。</p>

1 講座名・定員など

(1) 授業科目 年間 10 科目以内

科目	曜日・時限	授業時間	定員
Gender Studies	木・3	13:10-14:40	5名程度
Special Topics in Area Studies	木・4	14:50-16:20	5名程度
国際理解教育	金・2	10:50-12:20	5名程度
ヨーロッパ文化研究	金・3	13:10-14:40	5名程度
物理学	金・3	13:10-14:40	5名程度

- 授業の曜日・時限等は現時点での予定につき変更になる場合があります。ご了承ください。
- 授業は、4月10日（水）から開始し、全15回の予定です。祝日授業日もあります。
- 全ての授業で、インターネット授業支援システム manaba を使用します。講義中の課題への解答、資料閲覧に必要ですのでタブレットやノートパソコンなどインターネットにアクセスできるものがが必要です。本学からの機材貸与はございません。
- 対面授業が実施できる状況にあっても、オンライン（インターネット経由配信）で授業や授業に関する連絡（資料配布・課題のお知らせ・提出等）を行う場合があります。また対面とオンラインを併用して進める場合もあります。
- オンラインで授業が行われる場合、大学ではなくご自宅等においてパソコン等の端末を利用して受講する形となるため、パソコン、タブレット等インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境が必要です。この点につきましてもご確認の上、お申し込みください。ご自宅等で受講する場合の通信料は、受講者本人の負担となります。
- 端末などの接続や操作方法等のお問い合わせは承っておりません。

(2) 場所

文教大学 越谷キャンパス 埼玉県越谷市南荻島 3337

※ 東武スカイツリーライン 北越谷駅西口下車 徒歩約10分

※ 公共交通機関の学割対象にはなりません。

※ 車・バイクでの通学はできません。自転車の駐輪は所定の手続きが必要です。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき 10,000 円
- (2) その他 教科書等の教材は別途各自で購入となります。（書名、購入方法等は別途ご案内します）。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年2月29日（木）

- (2) 申込み先
文教大学 地域連携センター

- (3) 申込み方法
下記 Google フォームもしくは QR コードよりお申し込みください。
<https://forms.gle/81KYqQPmVYjqDij96>



※ 上記以外での受講申込は受付けておりません。

- (4) 選抜方法
定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。
受講の可否結果は、申込者全員に郵送でお知らせします。（3月8日（金）発送予定）
- (5) 支払いについて
受講可の場合、受講可否結果に振込用紙を同封します。お近くのコンビニエンスストアでお支払ください。
- (6) 問合せ先
文教大学 地域連携センター TEL：048-974-8811（代表）
フリーダイヤル ☎ 0120-160-449（固定電話のみ対応）
E-mail：kshougai@stf.bunkyo.ac.jp
URL：https://shougai.bunkyo.ac.jp/
- (7) その他
 - 感染症対策のため、地域の感染拡大状況によっては、受講生の受け入れを中止または受講方法を変更する場合があります。
 - 本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。
 - 申込み後に、お申込みをキャンセルする場合は3月22日（金）までにご連絡ください。その場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料は返金することができませんので、あらかじめご了承ください。
 - 4月9日（火）午後にオリエンテーションを予定しております。インターネット授業支援システムの説明等を行いますのでご参加ください。詳細は受講確定後にご案内します。
 - 4月末時点で正規学生の履修者がいない科目は非開講となり、以降の授業は行われません。その場合、受講料は返金します。

※以上の点につきましても、予めご了承の上、お申し込みくださいますようお願いいたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

※ 現時点での予定につき、担当教員や一部講義内容が変更になることがあります。

<p>Gender Studies (ブルゴス・イヴ)</p>	<p>■概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本におけるジェンダー研究の複雑さと学際性の理解。 ・ジェンダー研究視点の日本の歴史、経済、政治、社会構造の理解。 ・学習により、自身の多角的な視点の構築と価値観の醸成をする。 <p>■詳細・進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義、文献輪読 ・ディスカッション、ディベート、プレゼン <p>週ごとにトピックを決め、関連する論文・資料を用意。 それらを見てもらった後にディスカッション、ディベートを行い、考察していただきます。異なる年齢や性別、バックボーンをもった様々な参加者と意見交換することで、新たな視点と価値観を醸成します。</p>
<p>Special Topics in Area Studies (ラメイ・アレック)</p>	<p>This class will look at one of the most important problems our world faces today—climate change. This problem, if left unaddressed, has the potential to drive humans to extinction. In the past 30 years, the amount of CO2 gases released into the atmosphere in combination with deforestation and aggravated public health has created a deadly cocktail that threatens to kill millions of humans by decade’s end. Surprisingly, despite the enormous scale of this problem, there are few classes at Bunkyo University that discuss this issue in detail. This course will focus on the heart of the problem of climate change and show how a hotter planet will change everything we know to be true, from the food we eat, to our health, to how we define nature.</p>
<p>国際理解教育 (手嶋 将博)</p>	<p>ユネスコが提起した国際理解教育は、平和・人権・民主主義をキーワードとして、多文化社会に生きる人間の育成をめざす教育として提唱されてきた。この基本的考え方に基づき、日本における国際理解教育は、(1)異文化や、異なる文化の人々を受容し「共生」する力、(2)自らの伝統・文化に根ざした自己の確立、(3)自ら発信し行動する力、といった諸能力を涵養する教育として期待されている。本講義では、国際理解教育の基本的な概念や内容を学習しながら、その最も重要な要素としての「共生」について学ぶ。国際理解教育は、体験型ワークショップやアクティブラーニング等を通して、各分野や用語、カリキュラム等の基本、国際理解教育の意義や今後の課題、理論・実践について学習する。</p>
<p>ヨーロッパ文化研究 (山川 智子)</p>	<p>ヨーロッパ文化について幅広く学び、問題意識を深め、日本と日本文化を相対的に考えるための思考力を身につけていきます。ドイツ語圏地域を中心にしつつ、周辺地域も関連付けて話を進めます。言語、文化、教育政策、文学、芸術などを扱います。歴史的、地理的背景の異なる地域について学びながら、相違点とともに本質的な共通点も探っていきます。グローバル化した現代において、ヨーロッパで直面する課題は日本にとっても無関係ではないことを理解していきます。東アジアのなかの日本とヨーロッパについて、大局的に物事を考える能力を身につけることを目標としています。</p>

<p>物理学 (長島 雅裕)</p>	<p>物理学は現代の高度な科学技術の進展を根底で支えている。この物理学は、自然現象を観測して、そこにある秩序を理解することから始まり、多くの理論と実験の積み重ねによって、広範で複雑な体系が築かれてきた。この授業では、自然のふるまいから、物理学とはどのようなものかということ学ぶ。その際に、物理学の発展にも触れながら、その背景にある考え方を学び、自然現象についての理解を深める。また、物理学的な考え方を基礎にして、科学的なものの見方や批判的思考について学び、科学と社会の関係についても考える。授業は講義形式で行なう。テキストは使用せず、図面等のプリントを配布する。簡単な実験も行なう。なお、取り上げるトピックについては、受講者の興味関心に応じて柔軟に対応する。</p>
------------------------	---

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
経済法	杉崎 弘	火	19:40~21:10	5人

※開講方式については基本的な感染防止対策を徹底した上で、対面での実施を予定しております。

市中、もしくは学内の感染状況が悪化した場合は、**一時的にハイフレックス授業(対面 or オンラインを選択可能)**を原則とする事があります。ご了承ください。

※前期（4月～8月）の授業期間で、授業は15回の予定です

(2) 場所

埼玉大学経済学部 さいたま市桜区下大久保255

(北浦和駅又は南与野駅から埼玉大学行きバス)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目9,800円(振込手数料別途)
- (2) その他 教科書等の教材を自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年2月28日(水)
- (2) 申込先 ※下記メールアドレス宛お申し込みください。
E-mail eco-sodan@gr.saitama-u.ac.jp (埼玉大学経済学部係宛)
- (3) 申込方法
E-mail により、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。
- ①住所
 - ②氏名・ふりがな
 - ③年齢(令和6年4月1日時点)、性別
 - ④電話番号(日中連絡が可能な番号)
 - ⑤メールアドレス
 - ⑥受講希望科目
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否は申込者全員にお知らせします。)
- (5) その他
- ①お申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
(新型コロナウイルス感染症拡大に伴い授業実施方式の変更(前述)が生じた場合も同様となります)
- ◆ オンラインで受講頂く必要が生じた場合、大学ではなくご自宅等においてパソコン等の端末を利用し授業を受けて頂く形となります。
そのため、パソコン、タブレット等インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合は受講ができなくなる場合がございます。この点につきましてもご確認頂いた上でお申し込みください。
※仮に、受講料の納入後に新型コロナウイルス感染症拡大により対面授業が実施不可となった場合、申込をキャンセルされたとしても受講料の返金は致しかねます。予めご了承ください。

4 授業科目の概要及び担当教員

<p>経済法 (杉崎 弘)</p>	<p>○授業のテーマ 経済法の中核をなす独占禁止法の解釈論を学び、考察します。具体的には、独占禁止法の主要な規制として、「私的独占」の規制、「不当な取引制限」の規制、企業結合規制及び「不公正な取引方法」の規制を中心に上げ、各規制に関する根拠条文の解釈と運用について学びます。</p> <p>○授業の到達目標 独占禁止法が誰にどのような義務を課し、何を禁止しているのか、そして同法に違反した場合に誰がどのような措置をとることができるのか(あるいはとらなければならないのか)についての基礎知識を修得するとともに、経済社会をとりまく様々な課題を独占禁止法の視点から分析できるようになることを目指します。</p>
-----------------------	--

注) 募集の対象は、対面授業とオンライン授業のどちらの授業形態も受講が可能で、E-mail(電子メール)の送受信を含みご自身でパソコン操作を行える方のみです。対面授業の科目でもオンラインを併用し、都合により一部の日程をオンライン授業に変更する場合があります。オンライン授業の場合はご自宅等での受講となります。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当	曜日	時限	授業時間	定員
近世の日本史 I	神崎 直美	2 月 中 旬 以 降 に お 知 ら せ の 予 定		1 時限 9:15～11:00 2 時限 11:10～12:55 3 時限 13:45～15:30 4 時限 15:40～17:25 5 時限 17:35～19:20 * 社会情勢などにより 時間帯が変更される 場合があります。	若 干 名
経済政策 I	貫 真英				
地方自治論	土屋 正臣				
経営分析 I	山田 優子				
統計数学 I	清水 優祐				
環境科学 I	谷口 英嗣				
生活と化学物質 I	八木 創				
世界の文学 A	大橋 稔				
ジェンダー論 I	大橋 稔				
接客英語 I (CR 英語)	三國 信夫				

ホームページ上で最新の情報を確認後、お申込み下さい。

- 授業の曜日・時限等は未定です。決定次第、県HP（共通事項3募集案内）でお知らせします。科目・曜日・授業時間などに変更が生じた場合も同様にお知らせします。
- 春学期の授業は4月12日（金）から始まります。
- 受講人数により開講しない場合があります。
- 曜日が異なる科目は複数選択可ですが、曜日が同じ科目は複数選択できません。
- お申込み後の科目変更はできません。

- 授業実施形態のご希望は承れません。
- 対面授業とオンライン授業のどちらの授業形態も受講可能な方を募集します。
対面授業の科目でもオンラインを併用し、都合により一部の日程をオンライン授業に変更する場合があります。また、全ての科目において社会情勢や履修者数などにより授業期間の途中でも受講方法が変更となる場合があります。
- オンライン授業の場合は、ご自宅等での受講となり、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。通信料などは受講者負担です。端末などの接続や操作方法等のお問い合わせは承っておりません。
大学の端末やシステム等のご利用いただけません。
- 必要に応じて受講時にご自身の端末を持参して頂く場合があります。
- 学期末試験の受験はできません。但し、授業で小テストの実施がある時は、成績評価に関わらず受けていただく場合があります。
- 受講、講義資料の配布、必要に応じた連絡等はE-mail(電子メール)が基本です。資料を受信できるE-mailアドレスでお申込みください。

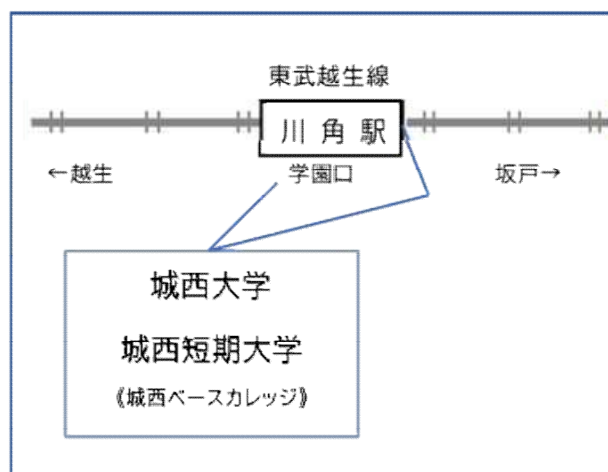
(2) 場 所

城西大学／城西短期大学（城西ベースカレッジ）

東武越生線川角駅から徒歩約10分。

※公共交通機関をご利用ください。

- 大学シャトルバスのご利用はできません。
- 大学駐車場のご利用はできません。大学周辺駐車場のご紹介は承れません。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき 10,000円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和6年3月6日(水) [必着]

(2) 申込先

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

電話 049-271-7795

E-mail extension@josai.ac.jp

(3) 申込方法

下記のForms(受講申込フォーム)よりお申込みください。送信後に受付の自動返信メールが届きます。

電話・その他のお申込みは受け付けておりません。

「大学開放授業講座 2024年度 春学期 城西大学受講申込フォーム」



<https://forms.office.com/r/4HSWcAkhnP>

※受講の可否および受講決定科目は、申込締切日以降に申込者全員へお知らせします。

(4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。

(5) 受講手続

受講可能な方へ受講手続書類を送付いたします。期日までに書類の返送と受講料納入等の受講手続きをお願いします。

お申し込みから受講開始までの期間が短くなりますのでご了承ください。

(6) その他

○一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができません。

○次に該当する行為があった場合、申し込み手続き中もしくは講座受講中であっても、受講をお断りする場合があります。この場合も、受講料をお返しすることはできません。

a. 本学の授業実施方法、開講内容、申し込み手続き方法等に対してご賛同いただけない場合

b. 講義の進行に影響が出る行為があった場合

- c. 本学学生や本学学生の保護者からのクレーム等を受けるような行為があった場合

以上の点につきましても、予めご了承の上でお申し込みくださいますようお願いいたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>近世の日本史Ⅰ (神崎 直美) [春学期]</p>	<p>「大名夫人の寺社参詣」</p> <p>江戸時代の大名夫人の寺社参詣について、日向国延岡藩主内藤政順の奥方であった充姫、後の充真院(幕府の大老・井伊直弼の姉)を事例として説明します。</p> <p>充真院が訪れた寺社は鎌倉の光明寺、岡崎の大樹寺、大坂の高津宮・新清水寺・安居天神・四天王寺・住吉大社、讃岐の金毘羅などです。これらの寺社参詣の実態を明らかにしながら、充真院の寺社参詣における姿勢やその人物像についても分析します。</p> <p>さらに、各寺社について現在の様子を撮影した写真データを映写して、受講生の皆さんに仮想寺社散策を味わっていただきます。</p> <p>教科書 神崎直美著『幕末大名夫人の寺社参詣一日向国延岡藩内藤充真院・統一』 岩田書院、2021年4月刊行</p>
<p>経済政策Ⅰ (貫 真英) [春学期]</p>	<p>(1) 授業の概要 本講義は企業の実力を導き出す競争政策など、各産業や消費者や労働者の利益保護を意図した政策を学びます。</p> <p>(2) 授業の目的 経済政策の論理を理解した上で、理論と現実をバランスよく理解することを目的とします。</p> <p>(3) 授業の方法 講義形式</p> <p>(4) 授業の到達目標 消費者や市民の目線から、自分たちの生活がどのように経済政策によって影響を受けており、また経済政策の変化にどのように対応していくべきかという視点で学生自身が考えていけるようになることを到達目標とします。</p> <p>(5) 授業の内容 以下にあげた流れに沿って講義します(カッコ内は各テーマにおける代表的な問いです。それ以外の政策課題についても論じていきます)。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスと経済政策概説 授業の進め方、評価のされ方、経済政策とは何かを理解する 2. 市場への政府介入 2 余剰分析と完全市場の効率性の理解を通じ、（なぜ計画経済は失敗し市場経済は残ったのか？）を説明できる。 3. 市場への政府介入 3 余剰分析と完全市場の効率性の理解を通じ、（参入規制の意味と弊害）を説明できる。 4. 税金と補助金の影響 1 価格弾力性の理解を通じ、（たばこ増税で税収は増えたか？）を説明できる。 5. 税金と補助金の影響 2 補助金と固定買取制度の理解を通じ、（食管法は何が問題だったのか？）を説明できる。 6. 税金と補助金の影響 3 価格の下限規制と上限規制の理解を通じ、（生活必需品を安くする価格規制や最低賃金は廃止すべきか？）を説明できる。 7. 国際貿易 1 自由貿易と輸入制限の理解を通じ、（輸入制限はなぜ廃止された？）を説明できる。 8. 国際貿易 2 関税と生産者補助金の理解を通じ、（関税は廃止されるべき？）を説明できる。 9. 公益事業と競争政策 1 自然独占と独占利潤の理解を通じ、（東京電力が地域独占なのはなぜ？）を説明できる。 10. 公益事業と競争政策 2 独占企業の価格規制と自由化政策の理解を通じ、（電力自由化は何かいい？）を説明できる。 11. 外部性と公共財 1 負の外部性とピグー税理解を通じ、（公害はゼロにすべき？）を説明できる。 12. 外部性と公共財 2 公共財と準公共財の理解を通じ、（橋や道路は政府が供給すべき？）を説明できる。 13. 市場経済と民主主義 経済格差と民主主義の機能の理解を通じ、（民主主義において格差問題は解決できるか？）を説明できる。 <p>教科書 八田達夫『ミクロ経済学1』東洋経済新報社。 持ち物 特になし その他 授業中に大学のオンラインシステムを通じた課題提出がありますが、聴講生の方は提出する必要はありません。提出したい方は対面で提出しても構いません。</p>
--	---

<p>地方自治論 (土屋 正臣) [春学期]</p>	<p>この授業は、地方自治体に関わる諸問題の考察を通じて、地方自治とは何か、今後どうあるべきかを議論し、地方自治に関わる政策課題解決のための知識や技能の修得、それらに応用する能力を身につけることが目的です。授業を進めるに当たっては、行政学等の学術研究の成果と共に、教員の実務経験を踏まえ、ディスカッションを重視します。</p> <p>教科書 特用いない 持ち物 チャットを使用したディスカッションを行うこともあるので、できればPCを持参することが望ましい。</p>
<p>経営分析 I (山田 優子) [春学期]</p>	<p>会計は「ビジネスの言語」といわれ、企業にとって必要不可欠なものである。すなわち、企業は事業活動の結果を帳簿に記録し、財務諸表を作成しなければならない。</p> <p>財務諸表は、企業を取り巻く利害関係者がその企業の財政状態および経営成績を理解するうえで重要なだけでなく、企業内部での経営管理にも役立つ。</p> <p>本講義では、企業が外部に公表している財務諸表を利用して行う財務諸表分析と、企業内での業績管理（利益管理、資金管理等）のさまざまな手法を理解することを目標としている。</p> <p>本講義の目標は、財務諸表の構造・読み方・分析等の基礎知識（ビジネス会計検定3級合格程度）を習得することである。</p> <p>講義は毎回「(前半) 知識のインプット・(後半) ワークショップ」のセットで行う。会計学に関心があり、ワークショップや課題にも主体的に取り組む意欲のある学生を歓迎する。</p> <p>教科書 『ビジネス会計検定試験 公式テキスト3級』中央経済社 持ち物 必ず電卓を持参すること その他 担当教員は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティングの実務経験があり、企業の実例を織り交ぜながら講義を展開する。</p>
<p>統計数学 I (清水 優祐) [春学期]</p>	<p>確率・統計の基礎知識を体系的に学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統計数学の概要、事象と確率 2. 条件付き確率とベイズの定理、独立性 3. 確率変数と分布関数 4. 離散型確率変数 5. 連続型確率変数 6. 期待値、分散、モーメント 7. モーメント母関数 8. 同時確率分布 (1) 9. 同時確率分布 (2) 10. 離散型確率分布 (1) ～離散一様分布、ベルヌーイ分布、二項分布～

	<p>11. 離散型確率分布（2）～ポアソン分布、幾何分布、負の二項分布～ 12. 連続型確率分布（1）～連続一様分布、正規分布～ 13. 連続型確率分布（2）～正規分布に関する諸定理～</p> <p>教科書 なし。講義スライドを電子ファイルで配布します。 持ち物 なし。 その他 講義スライドをプロジェクターに映して授業を行います。</p>
<p>環境科学 I (谷口 英嗣) [春学期]</p>	<p>人類はこの惑星地球に住む限り，地球の自然環境や地球進化について多くの問題点があることを知らねばならない．本講義は地球環境を支配する原理について，様々な地球化学的な手法から知り，そこから地球の進化史と現在の地球環境について読み取ることを目的とする．さらに現在注目されている里山について具体的にふれ，地球環境の問題点を，最新の論文から知る練習をする．地球環境についてのテーマで発表ができる．を目指す．</p> <p>講義による説明と図表，画像，ビデオ等の映像を見ながらワークシートを仕上げる．講義に必要な資料は印刷物として配布，あるいはダウンロード可能とする．最後に地球環境に関する論文紹介をプレゼンテーションしてもらう．</p>
<p>生活と化学物質 I (八木 創) [春学期]</p>	<p>化学そのものを中心に据えながらその実用性や応用面などを通し化学と日常生活の結びつきについて講義を行います。授業は化学科教員全員が得意分野を中心として趣向をこらしたテーマを設定したオムニバス形式で進めます。以下のようなテーマを扱う予定です。</p> <p>誘電体 脳に作用する化学物質 健康の指標となる化学物質 魚の体色・模様はどのように決まる？ 生物の変態 生体分子とサプリメント 混ぜるの化学 食品添加物 身の回りの金属錯体とその利用 分子の世界を知る・見る 炭素材料</p> <p>教科書 使用しません。毎回資料を配布します。 持ち物 筆記用具</p>

<p>世界の文学A (大橋 稔) [春学期]</p>	<p>アメリカ黒人女性の文学を中心に講義を行います。 アメリカ黒人女性という存在は、歴史的に人種差別、性差別、経済的差別などさまざまな差別が交錯する存在でした。そのような彼女たちの視点から社会を見直すことで、彼女たちが求めた社会の在り方について考えます。また平等や正義の在り方についても考えます。</p> <p>本講義では、アメリカ黒人女性の文学作品について紹介、分析するだけでなく、アメリカの歴史や文化、ブラック・フェミニズムなどについても紹介します。補助教材として映像作品なども紹介する予定です。</p> <p>教科書 指定なし。必要に応じて資料を配布します。 持ち物 筆記用具</p>
<p>ジェンダー論 I (大橋 稔) [春学期]</p>	<p>ジェンダー研究の視点から社会を見直すことを中心に講義を行います。</p> <p>ジェンダーとは、社会的文化的性差を意味しますが、近年ではSDGsや、多様性の議論の中において欠かすことのできない概念になっています。ジェンダーの視点から改めて社会の構造を見つめ直すことで、一人ひとりが豊かに生きることができる社会について考えたいと思います。また平等や正義の在り方についても考えます。</p> <p>本講義では、自分の問題としてジェンダーの課題を理解することができるよう、ディスカッションなども取り入れます。また補助教材として映像作品なども紹介する予定です。</p> <p>教科書 指定なし。必要に応じて資料を配布します。 持ち物 筆記用具</p>
<p>接客英語 I (CR 英語) (三國 信夫) [春学期]</p>	<p>(1) 授業の概要 語学・基礎</p> <p>(2) 授業の目的 訪日外国人観光客が急増する昨今、接客業においても外国人観光客への対応が迫られています。この授業では、実際の接客場面でどのような英語表現を使用したら良いのか、具体的なシーンを想定しながら重要な英語表現を学んでいきます。</p> <p>(3) 学習成果 英語を通してコミュニケーション力が身につきます。</p> <p>(4) 授業の方法 講義 (30%) と演習 (70%)</p> <p>教科書 授業開始時に指定します。</p>

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
国際関係	前期	月	2	11:15～12:45	若干名
ネットワーク産業論	前期	月	4	15:15～16:45	若干名
中小企業論	前期	火	4	15:15～16:45	若干名
コンシェルジュ論	前期	木	1	9:30～11:00	若干名
経営戦略論	前期	木	1	9:30～11:00	若干名
リテールビジネス論	前期	木	2	11:15～12:45	若干名

- ※ 授業科目、開講曜日・時限は変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 各科目とも授業は15回の予定です。
- ※ 前期授業は、4月8日（月）から開始する予定です。（※変更の可能性あり）

(2) 場所

西武文理大学キャンパス

- ※ JR埼京線川越駅・西武新宿線新狭山駅・西武池袋線稲荷山公園駅・JR八高線東飯能駅からスクールバス、東武東上線鶴ヶ島駅からは通学バスを運行しています。
- ※ スクールバス・通学バスをご利用の場合は、事前に学生サービス課までご連絡ください。
- ※ 車での通学も可能です。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円(初講日に徴収)。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月4日(月)(消印有効)

- (2) 申込先

〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田 311-1 西武文理大学 学生サービス課 (リカレント)
電話:04-2954-7575 FAX:04-2954-7511 E-mail:kyoumu@bunri-c.ac.jp

- (3) 申込方法

はがき、FAX 又は E-mail にて、以下の事項を もれなく 記入の上、いずれかの方法にてお申し込みください。(記入もれがある場合には、申し込みを受け付けられないことがあります。)

- ①郵便番号、住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③年齢(令和6年4月1日現在)、性別
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目(希望順に記入、何科目でも可)

- (4) 選抜方法

- ・定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。
- ・受講者の決定につきましては、3月下旬にご連絡いたします。

- (5) その他

- ・申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・諸事情により、一部オンライン形式など対面以外の方法による講義に変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

※ 現時点での予定につき、担当教員や一部講義内容が変更になることがあります。

<p>国際関係 (松澤 祐介)</p>	<p>授業の概要 この講義では、サービスの現場や経営を今後担っていく諸君に、外国や異文化を理解する力を養うことが狙いです。外国との安定的な関係を通じて我々の豊かさをいかに持続するかを、世界の国々の状況や、戦争・紛争が起こる理由やその解決法を通じて考えます。 前半では、国と国の関係を知る初歩として、国とは何か、そこに住む人々・「民族」とは何かを検討します。また、その「国」と「国」の関係をどのように構築し、戦争・紛争の起こらない社会を作る努力（条約、国際機関の設立など）の歴史を、主として20世紀前半までの流れの中で学びます。 中盤から後半では、第2次世界大戦後の日本を含めたアジア、アメリカ、ヨーロッパなどがどのような関係を持ち、対立・協調してきたか、冷戦や経済摩擦、地域統合などをトピックとして扱います。</p> <p>科目の位置づけ 戦後日本は平和主義の下で発展を遂げてきました。反面、海に囲まれた日本に住む私達は「国」「民族」の意識に希薄になりがちですが、世界では平和の大切さを理解しつつも国・民族間の紛争が絶えないという現実があります。そこでこの授業では、「国」「民族」とは何か、外国といかに関係を築くのか、戦争はなぜ起こり、いかにこれを回避・終結させるか、世界が発展し豊かになるための方法とは、などを問題意識とします。そして、近代から今日までの欧州、アジア、米国等を具体的テーマとし、その知見が、異文化をバックグラウンドとする訪日外国人等へのホスピタリティを発揮する力になることを期待する科目です。</p> <p>到達目標 サービス産業における世界とのつながりを考える際の基本的な知識としての、国、国家間の関係、国民の多様な在り様についての基礎的な知識を獲得する。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要 講義で行います。時事的な問題・話題を盛り込むため、新聞・雑誌記事や記録映像を用いて理解を深めます。</p>
<p>ネットワーク産業論 (松澤 祐介)</p>	<p>授業の概要 生活の中で不可欠な、交通、通信といったサービスは国・政府の規制と大きく関係しています。「ネットワーク」によって成り立つ産業について、経済学的な分析とそれぞれのサービスの具体的な内容、政策的課題を学びます。 例えば、通学で使う鉄道の料金は、ラーメンの価格のようにお店（＝事業者）が勝手に決めることは出来ませんが、それはなぜなのでしょう。一方で過疎化の進んだ地方での営業が「もうからない」からといって閉店（＝廃止）する自由はあるのでしょうか。少子高齢化する社会でこれらサービスはどのようにあるべきでしょうか。JALが経営破たんした際、なぜ政府が「支援」したのか、なぜ地下鉄は「都営」「市営」なのか。政府の介入が大きいサービス産業の分野を経済学的に分析します。</p> <p>科目の位置づけ この科目は、本学部のグローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。「政府」部門との関係が強く、ホスピタリティだけではとらえられない、鉄道や航空に代表される交通や電話といった電気通信など、「ネットワーク」に依拠する産業を、主として経済学的な観点から分析し、「初級経済学」での知識や、「公益事業論」との関連も踏まえた内容が展開されます。</p> <p>到達目標 ネットワーク産業のサービス産業としての特性を学修することで、サービスの多様かつ多面的な理解に結びつける。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要 講義で行います。新聞・雑誌記事や映像も用いて具体的事例を交えながら考えていく授業展開にします。</p>

<p>中小企業論 (藤野 洋)</p>	<p>授業の概要 日本では中小企業が企業数の99%超、従業者数の75%超を占めており、「活力ある多数」として経済の土台を支える重要な役割を担っています。しかし、1990年代半ば以降、開業率が廃業率を下回る状態が続いていることに象徴されるように、中小企業は様々な課題への対応を迫られているため、その活力を十分に発揮しにくい状態にあります。本講義では、第1クールで中小企業の特徴を大企業との比較などによって総論的に論じ、第2クールで中小企業が直面している様々な課題を概観し、さらに、第3クールで諸課題に対処するための政策や制度についても解説します。</p> <p>科目の位置づけ この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門を修得する科目として位置づけられます。経済学、経営学、会社法学の基礎的な理論に企業・支援機関の多くの事例の解説を交えることによって、幅広い視点から「中小企業」に対する理解を深めることを目的とします。皆さんが社会人（会社員、公務員、経営者、士業等）になった時に中小企業と関係・取引を全く持たないことは考えにくいので、円滑な仕事・取引のために知っておいてほしい中小企業の特徴を解説します。 具体的には、①(地域) 経済の土台となっている多数の多様なプレーヤーとしてのダイナミズム、②中小企業経営者の「独特の経営感覚」と事業を通じた「社会への貢献」に対する信念、③「優れた経営者」の会社では、従業員も若いうちから自分の仕事に誇りを持っていきいきと働いていること、④地域経済の担い手である中小企業の課題とその解決のための支援策の重要性、等について、理解を深めていただきたいと思います。</p> <p>到達目標 (1) 日本における中小企業の歴史的発展と現在の中小企業の位置づけを説明できる。中小企業の全体像を説明できる。 (2) 中小企業を支援する政策の概要と企業活動における資金の働きを理解することにより、実社会における中小企業のキャッシュフローを捉え、説明できる。 (3) 中小企業で働く人のキャリアパスとモチベーションを理解することにより、自己の将来の目的やキャリアアッププランの具体化に寄与できる。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要 講義形式で行います。具体的には、多くの事例を基にして、中小企業が直面している様々な環境変化や課題とその解決のための支援策等について解説します。</p>
<p>コンシェルジュ論 (富樫 文予)</p>	<p>授業の概要 「接客サービスの最高のプロフェッショナル」と呼ばれるコンシェルジュの歴史・実態を学び、ホテルの枠組みを超えて多種多様な企業・業に配置されている現代日本のホスピタリティ産業の分析をします。</p> <p>科目の位置づけ 本学の必須科目である「対人関係基礎・応用演習」を基に、ホスピタリティ産業全般にわたる顧客満足を目的としたコミュニケーションについて考え、その最たるコンシェルジュという職種について考察します。元来ホテル特有のサービスであったコンシェルジュが、今や航空、客船、デパート、電鉄、銀行、不動産、保険などの企業産業に進出している背景を学びます。それは取りも直さず、現代日本の産業に求められているサービスとは何かを考えることに他ならないのです。</p> <p>到達目標 「コンシェルジュ」の歴史・背景及び、そのプロフェッショナルリズムを理解する。ホスピタリティ産業全般における顧客満足を目的としたコミュニケーション力の重要性と方法を理解する。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要 講義を中心とし、演習（個人ワーク・発表）を行います。また、ゲスト講師（ホテルコンシェルジュ）を招聘（予定）し、コンシェルジュ業務の実態とそのプロフェッショナルリズムを学びます。</p>

<p>経営戦略論 (高瀬 浩)</p>	<p>授業の概要 企業活動の根幹をなす経営戦略を実際の企業の事例を通して学んでいきます。 経営戦略は、企業を取り巻く外部環境や内部環境などを見ながら、何をして何をしないのかを決めることでもあります。そこで、環境分析とその分析結果から、業界内での競争優位をいかに構築するのかを考えていきます。そのためには、いくつかの重要なフレームワーク（考え方の枠組み）を学ぶ必要があり、それら重要なフレームワークを事例と結び付けて学んでいきます。</p> <p>科目の位置づけ グローバルにめまぐるしく変わる市場環境の変化のもとでは、限られた経営資源をより有効に活用していくために、企業には経営戦略上の「選択と集中」は欠かせません。したがって、1年次から学んできた基礎経営学やサービス・マネジメント論、マーケティング、サービス・マーケティングなどの経営基盤科目や専門科目の知識も生かしながら、企業経営の意思決定に結びつけていく重要な科目です。</p> <p>到達目標 競争の基本戦略、製品ライフサイクル別戦略、市場地位別戦略、成長戦略など経営戦略を考える上で、基本となる知識を修得し、それらの考え方を理解できる。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要 講義（グループディスカッションを行うことがあります）</p>
<p>リテールビジネス論 (小玉 武生)</p>	<p>授業の概要 特定の業態や個別企業について深く学びます。多店舗展開に有効なチェーンオペレーションについて機能分担・評価の仕組みなど詳細を学びます。 また複雑な流通構造が残るアパレル流通業界で、百貨店チャネルを重視する企業と駅ビル、ショッピングセンター等の路面店を重視するSPA（製造小売業）との戦略の違い、拡大するコンビニエンスストア業界での各社の戦略を比較します。破たん企業の再生事例も紹介します。その他、ケースを使い、企業経営者だったらどうすべきかをグループで討議します。</p> <p>科目の位置づけ この科目は、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を習得する科目として位置づけられます。基礎経営学、マーケティングの知識を前提としています。流通システム論で学んだ業態や企業をより深く学びます。履修後は品揃えや商品計画を学ぶ『マーチャンダイジング論』につながります。</p> <p>到達目標 流通の役割や機能について理解し、チェーン・ストアの原理とローコスト・オペレーションについて説明できる。</p> <p>授業の方法・講義手法の概要 「講義」とともにケースを使う「演習」も実施します。</p>

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	実施時期	曜日	時限	定員	授業時間
芸術を読みとる	森 暁子	前期	月	1	若干名	1限 9:00~10:30 2限 10:40~12:10 3限 13:00~14:30 4限 14:40~16:10 5限 16:20~17:50
日本語学入門	星野 祐子		月	3		
日本語学A	星野 祐子		月	4		
コミュニティ論	大友 由紀子		月	4		
日本と異文化	小林 実		水	2		
健康食育論	徳野 裕子		木	3		
人間栄養学概論	山本 茂		金	2		
グループダイナミクス	風間 文明		金	2		
恋愛と結婚の科学	山下 倫実		金	2		
児童学概論	横井 絃子 他		土	1		

※上記時間割は令和5年12月1日現在のものです。

今後、急な時間割変更が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は4月11日（木）から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

※授業は原則として対面で実施しますが、学内の感染状況が悪化した場合は、オンライン授業に切り替える可能性があります。

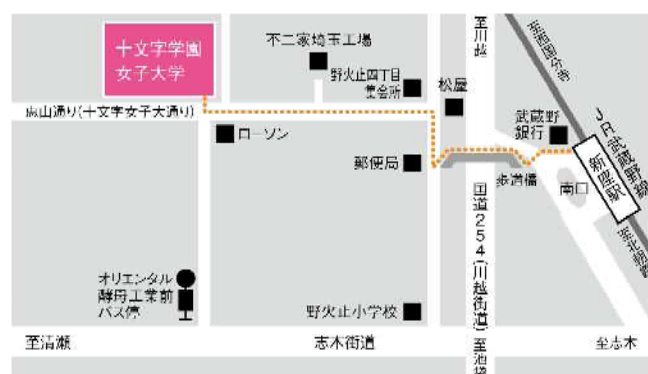
(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車、「清瀬駅北口」行きバスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車、「志木駅南口」行きバスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分



※駐車場のご用意が出来ませんので、公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円
 - (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。
(教科書については第1回目の授業で担当教員から説明があります。)
- ※受講料は、説明会時にクレジットカード・ICカードによる電子決済でのお支払いとなります。
- ※一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月9日(土)(消印有効)

- (2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 地域連携推進課

電話:048-477-0958(直通)

- (3) 申込方法

官製はがきに以下の事項を**もれなく**記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 「大学の開放授業講座 受講申込」と明記
- (2) 氏名・ふりがな
- (3) 年齢(令和6年4月1日現在)
- (4) 性別
- (5) 電話番号
- (6) 郵便番号・住所
- (7) 受講希望科目・担当教員名(何科目でも可)

※申込後に、都合により受講できなくなった場合はお早めにご連絡ください。

- (4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は3月下旬を目途に申込者全員にお知らせします)

- (5) その他

・本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>芸術を読みとる (森 暁子講師)</p>	<p>変体仮名（くずし字）の資料を、端正な手書きの文字から子供向けに出版された絵本まで広く取り上げ、読み解いていきます。今まで変体仮名に触れたことのない人でも、文脈や挿絵などを手掛かりにして、なんとなく当たりをつけて読むことができるようになることを目指します。テキストは『変体仮名の手引〔改訂増補〕』（中野幸一編、武蔵野書院）を使います。</p>
<p>日本語学入門 (星野 祐子教授)</p>	<p>私たちにとって日本語は無意識的な存在。その無意識的な日本語に対し意識的になることがこの講義の目的です。講義では、音声・語彙・文法・方言などの観点から、日本語に関わる興味深い話題を取り上げます。日本語の奥深さを実感できるはずです。テキストは『やさしい日本語のしくみ』（庵功雄他著、くろしお出版）を使います。</p>
<p>日本語学A (星野 祐子教授)</p>	<p>日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探ります。また、現代語から切り離された過去の言語活動として古いことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていきます。テキストは『日本語の歴史』（山口仲美著 岩波新書 2006年）を使用します。</p>
<p>コミュニティ論 (大友 由紀子教授)</p>	<p>農業や中心商店街の衰退により、町内会・自治会に代表される地域活動が停滞するなか、防災・防犯、福祉、教育、環境等における「地域」への関心が高まっています。農村社会学、都市社会学、地域社会学で議論されてきたコミュニティ論の基本を学び、そこでの概念を用いて、都市と農山漁村における固有の問題、持続可能な地域コミュニティづくりにむけた課題を検討します。</p>
<p>日本と異文化 (小林 実教授)</p>	<p>日本列島を、東アジア地域の一部としてみることで、どんな「日本」の姿が見えてくるのか。漢字、仏教、学問、お茶、空海さまに平清盛、なぜ足利義満は僧形なのか、倭寇とキリスト教伝来の関係などなど、対外交渉を軸にしたテーマで、古代から江戸時代までの日本の歴史をふり返ってまいります。</p>
<p>健康食育論 (徳野 裕子准教授)</p>	<p>昨年は想定外の自然環境も加わり、感染症と非感染症が存在する社会で健康で平凡な生活の大切さを痛感します。食育基本法が2005年に施行され18年が経過しました。改めて健康を維持・増進するための食育とはどのようなことなのか、女性の健康に関連する要因と、今置かれている環境を踏まえながら考えていきたいと思えます。</p>
<p>人間栄養学概論 (山本 茂教授)</p>	<p>人の栄養の有り方は簡単に見えますが、実は非常に複雑です。人に親切にされると感謝をする人、放っておいてくれと有難迷惑に思う人など様々ですが、栄養学も人の心のように複雑なのです。本講義では、日常的な話題を取り上げ、人の栄養がどうあるべきかを考えます。</p>

グループダイナミクス (風間 文明教授)	グループダイナミクスとは、集団および集団成員の行動に関する法則性を明らかにしようとする社会科学の1分野です。本講座では、集団内での人間行動に関する心理学的知見を平易に解説します。具体的には、集団の形成、集団規範への同調と逸脱、集団合議による意志決定、リーダーシップなどの問題を取り上げる予定です。
恋愛と結婚の科学 (山下 倫実准教授)	親密な異性関係（恋愛関係・夫婦関係）は人にとって極めて関心の高い関係です。本科目は、社会心理学の分野で明らかになっている恋愛や夫婦関係に関する科学的なデータを示し、恋の始まりから終わりまでを解説します。また、近年の結婚に対する価値観や生活環境の変化によって影響を受ける夫婦関係についても取り上げます。
児童学概論 (横井 紘子准教授 他)	子どもを取り巻く社会・環境が大きく変化していく中で、生涯発達の基礎となる乳幼児期の子どもに必要な経験は何かについてより深く理解することが私たち自身の理解につながります。本講座では幼児教育学科専任教員が各自の専門領域から講義を行い、一般的な「子ども」像から、より多面的に「子ども」について探究します。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名		担当教員	曜日	時限	定員
学 部 授 業	統計力学 I	安食 博志	月	1	若干名
	統計力学演習	安食 博志	月	2	
	現代マスコミ論	中山 洋	月	2	
	戦争と平和の歴史	中島 浩貴	月	2	
	離散数学	山崎 浩一	月	3	
	歴史学	中島 浩貴	月	3	
	リモートセンシング	島田 政信	火	1	
	天文学	樋口 あや	火	2	
	多文化コミュニケーション A	中島 浩貴	火	2	
	物理学 A	安食 博志	木	1	
	物理学 A	井上 真	木	1	
	電磁気学 I	井上 真	木	2	
	欧米文化研究	中島 浩貴	金	2	
	歴史学	中島 浩貴	金	3	
	教養ゼミナール A	中島 浩貴	金	4	
大学院	音楽とデザイン特論	柴山 拓郎	木	D 5	

【開講時限】 ※1コマ100分授業です。

1時限 9:20~11:00 2時限 11:10~12:50

3時限 13:40~15:20 4時限 15:30~17:10

D 5時限 18:00~19:40

【授業開始日】

4月11日（木）から開始します。

【講義回数】

各科目とも授業は14回の予定です。

【学期末試験】

受験しません。

【注意事項】

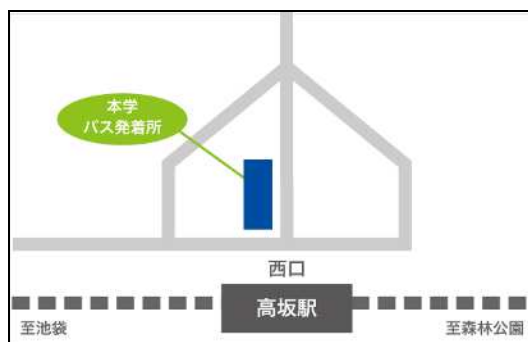
各科目の担当教員、授業時間割及び授業科目の内容は変更になる場合があります。（休講が発生した場合、通常とは異なる曜日・時限で補講が行われる場合があります。）

なお、授業は埼玉鳩山キャンパスに登校し、対面にて受講していただきます。新型コロナウイルスの感染拡大等により、期間中に授業がオンライン開講となった場合には、受講者の受入れを中止させていただきます。

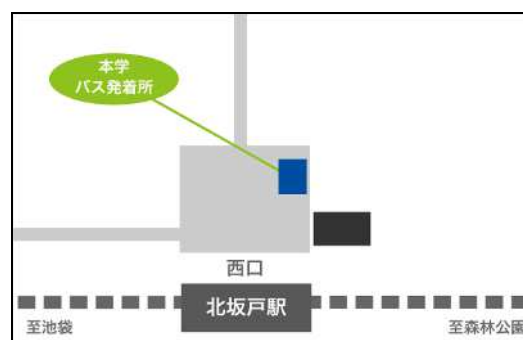
(2) 場所

東京電機大学埼玉鳩山キャンパス
（住所：埼玉県比企郡鳩山町石坂）

- ・スクールバス（無料）が、東武東上線「高坂駅」および「北坂戸駅」よりご利用になれます（高坂駅発：約8分、北坂戸駅発：約10分）。
- ・自動車でも通学できます。（本学駐車場内での事故等については、大学は一切の責任を負いません。）ご希望の方は駐車許可証を発行いたしますので、教務担当窓口へお申し出ください。



高坂駅スクールバス発着所



北坂戸駅スクールバス発着所

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目につき 10,000円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。
(教材については、初回の授業で教員より指示があります)
PC等の貸与は行いません。
講師の都合等により、開講中止となることがあります。
ご留意ください。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月15日(金) (消印有効)
- (2) 申込先 〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂
東京電機大学 理工学部事務部 教務担当
TEL 049-296-0430
e-mail: ri-kyomu@jim.dendai.ac.jp
- (3) 申込方法
E-mail 又は はがき により、以下の事項を もれなく 記入の上、お申込みください。
①郵便番号・住所
②氏名ふりがな
③年齢 (令和6年4月1日現在)
④性別
⑤電話番号 (日中連絡が可能な番号)
⑥メールアドレス (無い場合は「なし」とご記入ください)
⑦緊急連絡先
⑧受講希望科目 (複数科目可能)
⑨通学方法 (スクールバス、自動車 (送迎含む)、その他)
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。)
- (5) その他
以下の項目をご確認の上、お申し込みの程お願い申し上げます。
・第1回目の授業から出席していただきます。
・学内のITサービス (Wi-Fiを含む) 及び図書館 (閲覧・貸出) のご利用はできません。
・パソコンの貸し出しは行っておりません。

4 各授業科目の概要および担当教員

統計力学Ⅰ (安食 博志 教授)	統計力学は、物質を構成する非常に多くの原子や分子の状態を「等重率の原理」に基づいて統計的に処理し、巨視的な物理的性質を導く学問である。「等重率の原理」の妥当性は熱力学的な性質の再現により保証されているが、熱力学で生み出された「エントロピー」の概念は、むしろ、統計力学で学ぶほうがわかりやすい。熱力学を学んでいることが望ましい。
統計力学演習 (安食 博志 教授)	「統計力学Ⅰ」の授業で学習した内容を、演習を通してより深く理解する。授業時間中に各自が問題に取り組み、その解説を教員が行う。毎回、取り組んだ問題の類題を宿題として出し、その翌週に解答を配布する。
現代マスコミ論 (中山 洋 教授)	最近の報道では、ときおり「フェイク・ニュース」が飛び交う。事実無根の情報、あるいは事実を曲解してつくられた情報、ようするに虚偽の情報を意味する。本講義ではこれらの虚偽情報を例外とみるのではなく一つの情報の在り方とみなして批判的に検討し、そのような事態に対して、情報リテラシーをもって接する態度を身につけることを目的とする。
戦争と平和の歴史 (中島 浩貴 教授)	(月曜2限)近現代史を見ていくなかで、戦争と平和を軸に検討します。歴史学は様々な観点で発展を遂げていますが、戦争と平和の問題についても全体的に見ていくことができるようになってきました。フランス革命から二つの世界大戦、現代までの歴史について、講義ではできるだけわかりやすく話しつつも、最新の議論をも紹介していきたいと思います。映画やドキュメンタリーも参照したいと考えています。
離散数学 (山崎 浩一 教授)	数学を大雑把に大別すると連続系と離散系に分けることができる。コンピュータやデジタル技術の基盤として当然数学も使われているが、その大部分は離散系に属する。本講義では、基礎的な離散数学を学ぶ。具体的には、集合、関係(順序、同値)、論理、離散構造(グラフ、オートマトン)などの基礎を学ぶ。
歴史学 (中島 浩貴 教授)	(月曜3限、金曜3限)「歴史学」では、「歴史とはなにか」を考えます。歴史とはそもそもなんであって、人間はどうして過去のことを研究するのでしょうか。この問題意識をもって「歴史と学問」を考えていきたいと思います。古代から現代の歴史についての見方の移り変わり、現在、活発化している歴史学の発展を踏まえた講義を行います。
リモートセンシング (島田 政信 教授)	直接ものに触れることなく物を観測し・解釈するリモートセンシングについて学びます。本講座の中では、リモートセンシングの代表であるカメラ画像や、衛星画像用い、観測の原理、分類の原理、手法を座学するとともに、受講生のPC(mac or windows)、フリーなアプリと画像を用いて画像解析や分類を勉強します。
天文学 (樋口 あや 助教)	宇宙の中の地球という視点を持ち、宇宙の始まりから、初代星や銀河の形成、そして恒星・星間物質・星の進化について、これまでの理論・観測研究を元に紹介する。また観測データから、意味のある値を抽出する方法を理解する。

<p>多文化コミュニケーションA (ドイツ) (中島 浩貴 教授)</p>	<p>(火曜2限)ドイツに興味がある人とドイツ語を勉強したい人を対象とした授業です。ドイツ語の文法をごくかんたんに勉強・確認しつつ、いまのドイツを知るテキストや映像作品、映画を使って学びます。ドイツ語を学んだことのない人を対象としています。</p>
<p>物理学A (安食 博志 教授)</p>	<p>物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問の1つである。この講義では、力学を通して物理学の考え方と数学的な記述(微積分, ベクトル)について学ぶ。高校1年の「物理学基礎」、高校2年の微積分とベクトルを理解していることが望ましい。</p>
<p>物理学A (井上 真 准教授)</p>	<p>高校で学んだ物理学のうち、特に力学を中心に理解を図る。このクラスは高校での力学を一通り理解している学生を対象とする。</p>
<p>電磁気学 I (井上 真 准教授)</p>	<p>電磁気学をクーロンの法則より再度学び直す。特に様々な法則の微分形式による表現を習得し、静電場の理論を身につける。また、スカラーポテンシャルについても触れる。</p>
<p>欧米文化研究 (中島 浩貴 教授)</p>	<p>(金曜2限)この講義では、ヨーロッパとアメリカの文化変容を歴史的に見ていきます。大学とエリート文化、大衆化、世界大戦の時代、現代の消費社会などについて見ていきます。そして、日本が、欧米の文化からどのように影響を受けていったのかについても触れていく予定です。なお、当時の状況を理解してもらう一助として映画やドキュメンタリーを使用します。</p>
<p>教養ゼミナールA (中島 浩貴 教授)</p>	<p>(金曜4限)このゼミでは地域の活性化をテーマとします。学生と地域や社会についての調査を行ったり、アイデアを出し合いながら、実践的活動を行っていきます。実際の企画については、一般学生のニーズを優先しますが、坂戸(北坂戸にぎわいサロン)、鳩山、東松山でのさまざまな企画実行やイベントを実施する予定です。</p>
<p>【大学院】 音楽とデザイン特論 (柴山 拓郎 教授)</p>	<p>コンピュータは現在音楽表現に欠かすことができない道具となっている。その一方でコンピュータは私たちが何気なく用いている「音楽」という言葉が指している対象の概念を大きく拡張する可能性も持っている。この授業では、前半は過去の音楽における理論構造を、現在のコンピュータを用いた音楽表現との関連とともに捉える。後半では、音楽構造を人間の情動情報から捉えることで、音楽表現をコンピュータを用いた情報表現の拡張として捉える。このプロセスにより、コンピュータを、従来からの音楽表現の「支援」から、音楽表現そのものの拡張を指向するための実践を行う。</p>

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
機械工学概論	前期	木	4	1 時限 9:10~10:50	若干名
工業法規		木	4		
生態環境科学		木	1	2 時限 10:55~12:35	
生活の科学		木	4	3 時限 13:20~15:00	
デジタル回路		火	4	4 時限 15:05~16:45	
ICT 概論		水	5	5 時限 16:50~18:30	
社会学概論		月	1		
産業心理学		木	1		

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は4月10日(水)から開始します。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR 高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。
※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年3月8日(金) 必着
- (2) 申込先
〒369-0293
埼玉県深谷市普濟寺1690
埼玉工業大学 教務課 リカレント係
TEL: 048-585-6813 FAX: 048-585-5939
E-mail: kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法
はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、以下の事項をもれなく
記入の上、お申し込みください。
①郵便番号・住所
②氏名(フリガナ)
③年齢(令和6年4月1日現在)・性別
④電話番号
⑤受講希望科目(何科目でも可)
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
授業は原則として対面で実施します。
キャンパス内では本学が定める感染対策にご協力ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名 (担当教員)	概要
1	機械工学概論 (長谷 亜蘭 准教授)	“機械”と一言でいっても、機械の中にはとても多くの技術が詰まっている。その技術分野も力学、材料、機械要素、熱・流体、設計製図、ものづくり、計測・制御、電気・電子などと幅広い。これから機械工学科の専門科目を学習していくうえで、この機械工学概論で学習する各分野の幅広い基礎知識はとても有用である。本科目では、機械工学科で専門分野を学ぶ前段階として、各分野の基礎のきそについてわかりやすく解説する。
2	工業法規 (河田 直樹 教授)	知的財産権を中心とする工業分野の様々な法規の解説と、知的財産権のうち、特許、意匠、商標の出願方法の演習からなる講義を展開する。 例えば、昨今の IoT や AI の普及による様々な技術革新の流れの中で特許を取得することは、多くのビジネスチャンスを生み出すきっかけとなっている。工業法規を学ぶことで、特許などの権利獲得までの流れとコツをつかみ、変革していく社会における知的生産活動の糧となれば幸いである。
3	生態環境科学 (秋田 祐介 准教授 秦田 勇二 教授 本郷 照久 教授)	我々人間を含めたあらゆる生物を取りまく自然環境を「生態」といいます。本講義では、陸上や海洋といった生態環境に関する問題や利用方法を各論的に紹介し、生態環境の改善にむけた科学的アプローチについて考察します。第一部では、主に陸上植物の生態やその利用例について紹介します。第二部では、海洋の生態やその利用法について解説します。第三部では、バイオマスの利用法など、環境の負担軽減にむけた研究について解説します。
4	生活の科学 (松浦 宏昭 教授 田中 睦生 教授 青木 寛 非常勤講師)	我々の生活は、さまざまな科学技術の進歩により支えられてきた。しかし、近年では、地球環境・生活環境・社会情勢の変化により、さまざまな問題点も浮かび上がってきた。本講義では、快適な生活をおくるための健康科学や材料化学、エネルギー問題と次世代新型エネルギーに焦点をあて、身近な生活環境を科学的視点から捉えられる素養を身に着けることを目的とする。

5	<p>デジタル回路 (吉澤 浩和 教授)</p>	<p>本講義は、デジタル回路の基本となる2値論理演算から始めて、基本ロジック回路、そして基本回路を組み合わせたより複雑な回路について学んでいきます。最終的にはカウンター回路の設計方法を理解できるように説明を行います。そのために必要なさまざまな手法や各種フリップフロップなどの基本知識について解説を行っていきます。</p>
6	<p>ICT 概論 (高橋 優 教授)</p>	<p>情報化社会は、AI や IoT (モノのインターネット) 技術の発展により変革期を迎えています。このような情報化社会を支える技術や仕組み、役割について学びます。普段使っている情報機器がどのように情報化社会と関連しているのか、情報がどのように収集・活用されているのか、PC を用いた演習を通じて学習します。</p>
7	<p>社会学概論 (平田 文子 准教授)</p>	<p>社会学という学問がなぜ近代に必要なになったかという社会学成立の過程を含めて社会学の概論を講義する。唯物論・唯心論の物心二元論の思想から、16 世紀の実証科学の発展、進化論、マルクスの唯物史観、マックス・ヴェーバー、エミール・デュルケーム、そして20 世紀後半のパーソンズまで、基本的な社会学理論を講義し、実証科学としての方法論とデータや調査の限界についても講義する。</p>
8	<p>産業心理学 (産業・組織心理学) (村中 昌紀 准教授)</p>	<p>産業心理学 (産業・組織心理学) は、働く人の心や行動のメカニズムについて研究する、応用心理学の一分野である。授業では、産業・組織心理学全般について講義する。その内容には、職場における問題 (メンタルヘルスやキャリア形成に関することなど) に対して必要な心理に関する支援と、組織における人の行動が含まれる。</p>

とうとだいがく
東都大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	授業時間	定員
生活科学	4/8-6/10	月	9:15-10:45	各科目 若干名
看護学概論	4/9-7/16	火	9:15-10:45	
フランス語	4/18-7/25	木	14:55-16:25	

(2) 場所 東都大学深谷キャンパス

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 4-2-11

- ・JR高崎線「深谷」駅より徒歩20分
- ・市内循環バスくるリン・深谷駅北口発西循環便「アリオ深谷」下車
- ・隣接する「アリオ深谷」との無料協働シャトルバス利用の場合
JR高崎線「深谷駅」南口⇔アリオ深谷停車場。所要時間は約10分
- ・お車でお越しの場合、関越自動車道・花園I.C.から約20分



2 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき 10,000円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和6年2月15日(木) (消印有効)

(2) 申込先 (※科目により連絡先が異なります)

【生活科学 連絡先】

東都大学管理栄養学部教務課

Mail e-kyomu@tohto.ac.jp

【看護学概論・フランス語 連絡先】

東都大学 ヒューマンケア学部看護学科教務課

Mail kyoumu@tohto.ac.jp

(3) 申込方法

以下の事項を入力の上、電子メールでお申込みください。

※電子メールのみ受け付けております。その他のお申込み方法では受け付け不可となりますのでご注意ください。

件名 「大学の開放授業講座受講申込」

本文

① 郵便番号・住所

② 氏名
ふりがな

③ 年齢 (令和6年4月1日現在)、性別

④ 電話番号

⑤ メールアドレス

⑥ 受講希望科目 (何科目でも可)

⑦ 受講希望理由 (400字程度)

(4) 選抜方法

申込受付後、面接により受講の可否を決定します。

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選を行います。

※受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。

(5) その他

- ・一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、オンライン上で受講頂くかたちとなる可能性もございます。

4 授業科目の概要

生活科学	家庭や地域・学校・職場など様々なコミュニティに属する上でのそれぞれにおける慣習や規範への沿い方、生活していくうえで欠かせない住居や空間などの物理的環境、身近な自然環境との共存など、生活者であることの基本的視点について学ぶ。
看護学概論	看護の対象、目的、方法、社会的役割について学ぶ。看護の基本概念である人間、環境、健康、看護について看護理論を通して学ぶ。看護の歴史の変遷や看護活動の概要を学ぶ。
フランス語	言語手段としてのフランス語は依然重要で、世界で2億人以上のフランス語公用語圏が形成されている。フランス語圏では英語圏と異なる文化が発展しており、フランス語の理解を通じてその地域の文化特性についても学ぶ。管理栄養学部の受講生も考慮し、特にフランスの食文化を中心に学ぶ。

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当者名 (予定)	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
保育内容総論	オムニバス	前期	未定		1 限 9:10~10:40 2 限 10:50~12:20 3 限 13:10~14:40 4 限 14:50~16:20 5 限 16:30~18:00	若干名
保健医療と福祉	篠原純史					若干名
貧困に対する支援	中島修					若干名
知覚・認知心理学Ⅱ	小林剛史					若干名
地域社会学	古市太郎					若干名
比較文化論	貫井万里					若干名

※授業の曜日・時限などは未定です。確定次第、(県HP：共通事項 3 募集案内)でお知らせします。また、大学申し込み先までお問い合わせください。

*各科目とも授業は15回の予定です。

*授業は4月12日(金)から開始します。

(2) 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
TEL (049) 261-6488 (代)

アクセス方法

- 東武東上線ふじみ野駅西口より
スクールバスで7分(無料)
- 東武バス「ふじみ野駅」発 大井循環
(文京学院大学経由)「文京学院大学前」
下車、9分(有料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円
(初講日に現金にて徴収)。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担により
ご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和6年2月29日(木) (消印有効)

(2) 申込先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

文京学院大学人間学部教務グループ

電話 049-266-0253

e-mail: f-hum-kyoumu@m.bgu.ac.jp

(3) 申込方法

はがき又はe-mailにて以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

(1) 郵便番号、住所

ふりがな

(2) 氏名

(3) 年齢(令和6年4月1日現在)、性別

(4) 電話番号

(5) 受講希望科目

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

(5) その他

申し込み後に、**都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。**受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては返金することはできませんので、あらかじめご了承ください。

対面授業となりますが、状況によりオンラインまたは中止になる可能性があります。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>保育内容総論 (オムニバス)</p>	<p>幼稚園教諭・保育士養成にかかわる各科目に先立って、保育を統合的・横断的に理解する科目である。すなわち、子どもの発達や支援のあり方、保育における指導と展開の特質、現代の保育課題と求められる保育者養成像などである。幼稚園教諭・保育士養成課程で学ぶ誇りをもち、意欲的な学習を積み重ねて、志の高い保育・教育者となって卒業できるように多面的に保育・教育について講義・演習を行い、保育・教育に対する理解を深められるようにする。</p>
<p>保健医療と福祉 (篠原純史)</p>	<p>保健医療制度の概要、医療ソーシャルワーカーの役割・機能について学ぶ。保健医療制度の動向および医療ソーシャルワーカーの歴史を踏まえ、医療ソーシャルワーカーが拠り所とする倫理綱領や専門的技術について医療ソーシャルワーカー業務指針に基づく実践事例を通じて理解を深める。また、保健医療分野における他の医療専門職や地域関係機関の役割を知り、医療ソーシャルワーカーが実践する連携・協働の実際とそのあり方について理解する。</p>
<p>貧困に対する支援 (中島修)</p>	<p>貧困や公的扶助の概念を学習し、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について事例を通して理解する。また、貧困の歴史と貧困観の変遷を学ぶことで貧困問題を社会的に支援することとなった背景を理解し、その貧困に係る法制度と支援の仕組みについて各種制度の学習を通して理解する。そして、事例を通して貧困による生活課題を踏まえ、具体的な支援のあり方を学習する。</p>
<p>知覚・認知心理学Ⅱ (小林剛史)</p>	<p>本講義では、新旧の興味深い研究の知見を紹介するばかりではなく、その背景にある研究の手法や、その研究から得られる、人間に対する深遠な洞察能力を養うことを目的とする。すなわち、ヒトの脳および認知の機能の知識を表面的に身につけるのではなく、その機能を理解したうえでヒトという種に真に重要な機能についての教養を身につけることを目指す。近年の情報化社会により、人は大量の刺激に常に曝されており、そのような刺激環境に起因すると考えられる精神障害や適応不全も散見される。これほど多くの情報が氾濫する時代において、ヒトの脳および認知の機能の発達はどの方向に進んでいくのか。本講では、脳科学と認知の重要な知見についてさまざまな視聴覚教材を用いて学習することで、不確実性の社会において人間が進むべき方向性に対するより深い洞察能力を醸成する。</p>
<p>地域社会学 (古市太郎)</p>	<p>地域社会とは、経済・社会・文化・歴史等においてひとつのまとまりとして意味をもつ場所であり、そこに関わる人々の様々な活動によりその場所は豊かになります。本授業では、地域協働による地域社会を活性化する事例を通じて「コミュニティ」の重要性を学び、グローバル化という現状を踏まえながら、地域社会を再創造するための方法とヒントを得ることを目指します。</p>
<p>比較文化論 (貫井万里)</p>	<p>「比較文化論」は方法論としては対比研究と文化交流研究を用い、文化の多様性、文化の受容性、文化の発展などを考察・分析し、人類にとって文化とはどのように発展し、どのように展開しているのか鳥瞰するのを目的としている。世界には多くの文化があり、それらの文化は相互に影響し、競合し、感化し合ってきた。グローバル化が顕著になった 21 世紀はますますその傾向を深めていくと思われる。この講義では、キリスト教に続き、第 2 位の信徒数を持つイスラームの宗教・社会・文化・歴史を軸に学ぶ。その中で、イスラームと他宗教(ユダヤ教、キリスト教、ゾロアスター教)の相違点や類似点、近代以降の西欧文明との遭遇・交流を通して、イスラーム社会がどのように変容してきたのかを考える。</p>

にっぽんこうぎょうだいがく
日本工業大学

1 講座名・キャンパス

(1) 講座名

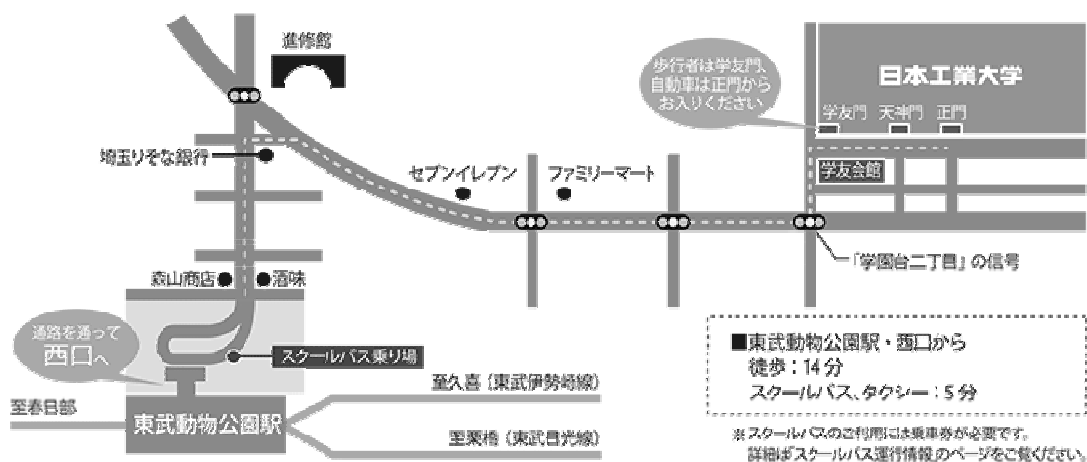
科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	公開定員
人間工学	春学期 (令和6年4月～ 令和6年7月)	金	3	13:20～15:00	10名
電気情報工学の基礎		月	4	15:10～16:50	10名
資源循環工学		月	3	13:20～15:00	10名
制御工学Ⅱ		木	2	10:50～12:30	10名
日本建築史		水	1	9:00～10:40	10名

*この実施予定は1月10日現在のものです。コロナ感染症の状況や諸般の事情により、変更や中止になる場合がありますので、ご了承ください。

*上記講座のお申し込みにあたっては、本学生涯学習センターホームページ

(<https://www.nit.ac.jp/campus/center/life>) に掲載する「令和6年度春学期要項」を熟読のうえ、お申し込みください。

(2) キャンパス



東武動物公園駅西口より、徒歩14分、スクールバス5分。

JR宇都宮線・新白岡駅東口より、スクールバス12分。 *スクールバス料金：100円/片道

2 受講料・テキスト

(1) 受講料：1科目につき10,000円

(2) その他：教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます(書名、購入方法等は別途ご案内します)。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和6年3月4日(月) (消印有効)

(2) 申込先

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
日本工業大学 生涯学習センター
電話：0480-34-4111 (内線 2273)
FAX：0480-33-7517
E-mail：shougai@nit.ac.jp

(3) 申込方法

以下の事項をご記入のうえ、E-mail、はがき、または FAX でお申込みください。
(電話での受付はしておりません)

- ① 住所 ② 氏名(ふりがな) ③ 年齢 ④ 性別
⑤ 電話番号 ⑥ 受講希望科目(複数科目の選択可)

(4) 受講手続

受講のお申込みを確認後、本学生涯学習センターより通知書を送付いたします。
この通知書を熟読のうえ、所定の期日までに受講料の振込み等、受講手続を行ってください。

(5) その他

- ① 本学が開講する開放授業講座を、今年度春学期(前期)から新たに受講される方におかれましては、第1回講義に先立ち、受講いただくにあたっての諸説明を目的としたオリエンテーションを開催します。日時等の詳細は、受講手続をいただいた方へ個別に連絡いたします。
- ② 新型コロナウイルスの感染状況によっては、マスク着用等、感染拡大の防止へのご協力をお願いする場合がございます。

4 各科目の概要及び担当教員

科目名 (担当)	授業科目の概要
人間工学 (細田 彰一 教授)	<p>我々が作る道具にとって、人間は必要不可欠かつ仕様変更のできない「部品」である。その意味でデザイン行為は、人間を中心としたシステム設計として考える必要がある。本科目は、人間工学の基礎である、人間の各種機能性能を中心に学ぶものである。</p> <p>(達成目標) 人間の機能を工学的な視点から把握し、人間中心のシステムを構築するのに必要な知識を身につける。</p>
電気情報工学の基礎 (電気電子通信工学科教員)	<p>本科目は、電気電子通信工学科で学習する専門科目について、幅広くオムニバス形式で学習する科目である。本科目では、「デシベル (dB) とは何か」、「電波とは？電波はどこまで届くのか?」、「社会インフラを支える電気技術」、「電力システムと再生可能エネルギー」、「統計、データの表現方法」などをテーマに、基礎的な内容や最新のトピックを各分野の専門教員が講義する。2回を1テーマとして、1回目に講義、2回目に理解度テストを行う。</p>
資源循環工学 (内田 祐一 教授)	<p>工業材料やエネルギーの製造と循環利用に関する科学技術とその技術革新を理解する。さらに、素材・エネルギー原料としての各種資源の現状を地球規模および環境負荷の視点から概観し、資源循環の必要性や課題を実践的に理解する。</p> <p>講義および演習形式で行う。講義で課した課題については講義時間内に解説する。</p>
制御工学Ⅱ (浦川 禎之 教授)	<p>ロボットでは機構系を駆動して動作を実現する。機構系を思ったように駆動制御するときに必要な制御理論に関して、基本といえる古典制御理論・現代制御理論について、その概略を説明する。古典制御についてはラプラス変換から安定性の判別について、現代制御では状態方程式から状態フィードバックについて、それぞれの特徴に着目して説明する。</p> <p>必要な制御器構成、制御パラメータなどを考えることができる能力を身につける。</p>
日本建築史 (野口 憲治 助教)	<p>歴史を学び、日本建築の意匠や技術について理解を深めることで、継承すべきものやあるべき環境について総合的な判断や考察ができるようになる。加えて、今後の建築に何が求められているかについて本質的な視点で考え、建築設計等に役立てることができるようになる。そうした素養を身につけるために、日本建築の歴史を、社会的背景、設計技術などを踏まえて体系的に理解する。</p>

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	開講曜日	開講時限	定員
地域社会論	岩村 沢也	木曜日	1 限	若干名
身体と健康	増淵 まり子	金曜日	1 限	

※曜日・時限が変更になる場合がございます。

<開講時限について>

- 1 限: 9 時 00 分～10 時 30 分
- 2 限: 10 時 40 分～12 時 10 分
- 3 限: 13 時 00 分～14 時 30 分
- 4 限: 14 時 40 分～16 時 10 分
- 5 限: 16 時 20 分～17 時 50 分

※前期授業は 4 月 8 日(月)から開始致します。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※各種感染症の影響により、受け入れ中止となる場合があります。

※受講人数により開講しない場合があります。

(2) 場所

◆淑徳大学 埼玉キャンパス
(車での通学はできません)

【スクールバスのご案内】

東武東上線みずほ台駅から
約 10 分

JR武蔵野線東所沢駅から
約 20 分

※スクールバスはいずれも無料



2 受講料等

(1) 受講料 1 科目 10,000 円 (2 科目まで受講可)

※一旦納入された受講料につきましては、原則として返金は致しません。

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 **令和6年3月1日(金)必着**

(2) 申込先 〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1
淑徳大学埼玉キャンパス 学事(教務担当)
TEL 049-274-1511(平日:9:00~16:30)
E-mail kyomu@u.shukutoku.ac.jp

(3) 申込方法 E-mail のみの受付となります。以下の事項を漏れのないよう記入のうえ、お申込みください。

※E-mail 以外でのお申込み方法では受付不可となりますのでご注意ください。

メールの件名は【開放授業講座(リカレント教育)】と明記してください。

- ① 郵便番号・住所
ふりがな
- ② 氏名
- ③ 生年月日・年齢(令和6年4月1日現在)
- ④ 性別
- ⑤ 電話番号
- ⑥ メールアドレス
- ⑦ 受講希望科目(希望順に2科目まで)

(3) その他

① 受講者多数の場合の対応

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

※受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせいたします。

② 受講前のご案内資料について

3月下旬頃に、受講前のご案内資料をご送付いたします。

③ 胸部 X 線結果の提出について

大学では多くの学生、教職員がおりますので、学校感染症の予防、そして蔓延を防ぐため、結核検診が必要と定められています。詳細については送付予定の資料にてご案内いたします。

④ 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に感染症法上位置づけが5類へ移行されました。しかし、感染力や病原性といったウイルスの性質自体が変わったわけではありません。引き続き、基本的な感染対策をお願いいたします。

※マスクの着用は個人の判断が基本ですが、効果的な場面などでは着用するようにしてください。

4 授業科目の概要及び担当教員

地域社会論 (岩村 沢也)	地域社会はいかに成り立っているのでしょうか？ 本講義では、市町村の行政組織と地域社会を構成する各種団体の特徴、地域社会を支える多様な職業、行政計画、都市計画に基づく土地計画区域分け、ハザードマップを学んだ後、日本と比較するために、ドイツ、スウェーデン、イギリス、中国の地方行政制度とEUの制度を学びます。
身体と健康 (増淵 まり子)	世界保健機関憲章に基づいた積極的な健康づくりのために、心(態度力)と体(体調力)を開発する考え方や、睡眠・食事などの基礎知識を学んだり、目標設定・達成力や意欲・やる気を活性化するためのポイント等、「健康」について様々な視点から学んでいき、自己活性化を目指します。

にほんしゃかいじぎょうだいがく
日本社会事業大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
子ども家庭福祉論 I	前期 (4~7月) 4/5(金)~7/31(水) (補講日含む)	月	1	9:00~10:30	若干名
ソーシャルワークの基盤と専門職 I		月	5	16:20~17:50	
高齢者の理解と援助		金	3	13:00~14:30	
心理学		金	4	14:40~16:10	
社会的養護 I		金	4	14:40~16:10	

(2) 場所

日本社会事業大学 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

(西武池袋線「清瀬」駅下車 清瀬駅南口バスターミナルより「下里団地行」又は「花小金井駅行(下里団地経由)」 「滝山営業所行」で「社会事業大学前」下車すぐ)

※車での通学はできません。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目につき 7,500 円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和6年3月1日(金)**
- (2) 申込先
 - 〒204-8555
 - 東京都清瀬市竹丘 3-1-30
 - 日本社会事業大学 大学教務課 開放授業講座係
 - 電 話：042-496-3107
 - E-mail：gakubu2020@jcsu.ac.jp
- (3) 申込方法
 - E-mail により、以下の事項をもれなくご記入の上、お申込みください。
 - ①住所
 - ②氏名（フリガナ）
 - ③生年月日、年齢（令和6年4月1日時点）
 - ④電話番号
 - ⑤受講希望科目（何科目でも可）
- (4) 選抜方法
 - 定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
 - 受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
 - 原則、対面授業を予定しておりますが、場合によって、オンライン授業（例：Zoom、課題提示）との併用になる可能性がございます。
 - この場合、学内ではなくご自宅等において、お持ちの端末で受講してください。
 - ※インターネット通信環境に関するサポート及び、端末の貸し出しはございませんので、ご了承の上、お申込みください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

子ども家庭福祉論 I (有村 大士教授)	過去から現在までの子ども家庭福祉の取り組みや、子どもを取り巻く状況についての基本的な知識を身につける。また子ども家庭福祉の課題に取り組むにあたり、必要な価値概念を検討する。
ソーシャルワークの基盤と専門職 I (内田 宏明准教授)	社会福祉士国家資格の誕生の背景、社会福祉士の役割と意義、専門性、介護福祉士等社会福祉分野の他の専門職との違いについて学ぶ。次に、ソーシャルワークの国際基準と倫理綱領を基盤とする社会福祉士の活動の現状を概観し、ソーシャルワークの基本的理念、活動において直面するジレンマにも触れる。
高齢者の理解と援助 (下垣 光教授)	この講義では、老年期におこる身体的、社会的、心理的な様々な課題についての理解をすすめることが学習の中心的なねらいである。高齢者に直接的に関わる福祉保健領域の仕事に就くか、あるいは就かないかかわらずこれらの課題の特性について基本的な知識をもつことは必要であるといえよう。老年期における様々な課題を理解していることは、人間そのものの身体的、心理的な発達のプロセスなかでの理解や、現代の社会生活、家族のあり方など問題を考えることにもつながるものと思われる。本講義では、まず援助・ケアにおいて必要である、対象者（この講義では、高齢者とその家族がその対象といえよう）の理解に重点をおいた内容で構成する。さらに講義においては、学習したこれらの基本的な知識を活用し、実際の事例における分析や、援助計画の立案できる力をつけることも講義のねらいに加える。また講義の後半では、認知症のある高齢者の直面する課題を取り上げる。認知症になることにより生じる問題だけでなく、その人自身の視点に立った支援が行えるための視点を育むことは、高齢者の有する能力や社会的な役割を尊重していくことにつながる。
心理学 (下垣 光教授)	講義内容は、記憶、認知、学習等の心理学の基礎知識に加え、障害者の心理、高齢者の心理、社会福祉実践に応用する心理学等、可能な限り実践的内容を盛り込む。社会福祉現場で活かせる支援方法の基礎を習得し、対人関係に人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を学習する。
社会的養護 I (有村 大士教授)	社会的養護の歴史とこれまでの課題、およびその社会的対応を知る。社会的養護におけるケアの現場に焦点を当て、特に児童養護施設と里親、養子縁組について重点的に取り扱う。

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
聖学院大学	法学	調整中		確定次第お知らせ	対面授業 (状況によりオンライン授業 になる可能性あり)	週1回科目 5,000円 週2回科目 10,000円	3月1日(金)
	文化交流史(アジアと日本)	木	3	13:00~14:30			
	精神保健福祉制度論	木	4	15:20~16:50			
	福祉心理学	火	5	17:00~18:30			
日本薬科大学	生活の化学*	火	2	1限 9:15~10:45 2限11:00~12:30 3限13:30~15:00 4限15:15~16:45 5限17:00~18:30	・対面授業 (オンライン授業になる 可能性あり) ・*印の科目は 対面とオンラインの併用	10,000円	3月8日(金)
	生活環境と健康	金	1				
	食品と健康	水	2				
東京国際大学	社会福祉概論	火・金	4	15:10~16:50	対面授業	10,000円	3月8日(金)
埼玉県立大学	公的扶助論	火	2	10:40~12:10	対面授業 (状況により中止 またはオンラインにな る可能性あり)	・公的扶助論 10,000円 ・高齢者福祉論 10,000円 ・生活と障害 6,000円 ・ソーシャル ワーク概論 I 10,000円	2月29日(木)
	高齢者福祉論	水	4	14:40~16:10			
	生活と障害	水	5	16:20~17:50			
	ソーシャルワーク概論 I	木	5	16:20~17:50			
文教大学	Gender Studies	木	3	13:10~14:40	対面授業 (オンライン授業を併用 する場合あり)	10,000円	2月29日(木)
	Special Topics in Area Studies	木	4	14:50~16:20			
	国際理解教育	金	2	10:50~12:20			
	ヨーロッパ文化研究	金	3	13:10~14:40			
	物理学	金	3	13:10~14:40			
埼玉大学	経済法	火		19:40~21:10	一時的にハイフレックス 授業(対面orオンラインを 選択可能)を原則とするこ とがある	9,800円	2月28日(水)
城西大学	近世の日本史 I	2 月 中 旬 に お 知 ら せ の 予 定		1時限 9:15~11:00 2時限 11:10~12:55 3時限 13:45~15:30 4時限 15:40~17:25 5時限 17:35~19:20 *社会情勢などにより 時間帯が変更される 場合があります。	・対面授業とオンライ ン授業を併用する場合 あり ・一部の日程をオンラ インに切り替える可能 性あり	10,000円	3月6日(水)
	経済政策 I						
	地方自治論						
	経営分析 I						
	統計数学 I						
	環境科学 I						
	生活と化学物質 I						
	世界の文学 A						
	ジェンダー論 I						
	接客英語 I (CR英語)						
西武文理大学	国際関係	月	2	11:15~12:45	対面授業 (状況によりオンライン 授業に切り替える可能 性あり)	10,000円	3月4日(月)
	ネットワーク産業論	月	4	15:15~16:45			
	中小企業論	火	4	15:15~16:45			
	コンシェルジュ論	木	1	9:30~11:00			
	経営戦略論	木	1	9:30~11:00			
	リテールビジネス論	木	2	11:15~12:45			
十文字学園女子大学	芸術を読みとる	月	1	1限目 9:00~10:30 2限目 10:40~12:10 3限目 13:00~14:30 4限目 14:40~16:10 5限目 16:20~17:50	対面授業 (状況によりオンライン 授業に切り替える可能 性あり)	10,000円	3月9日(土)
	日本語学入門	月	3				
	日本語学 A	月	4				
	コミュニティ論	月	4				
	日本と異文化	水	2				
	健康食育論	木	3				
	人間栄養学概論	金	2				
	グループダイナミクス	金	2				
	恋愛と結婚の科学	金	2				
	児童学概論	土	1				

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
東京電機大学	統計力学 I	月	1	1時限 9:20~11:00 2時限 11:10~12:50 3時限 13:40~15:20 4時限 15:30~17:10 D5時限 18:00~19:40	対面授業 (状況によりオンライン開講となった場合、受け入れを中止)	10,000円	3月15日(金)
	統計力学演習	月	2				
	現代マスコミ論	月	2				
	戦争と平和の歴史	月	2				
	離散数学	月	3				
	歴史学	月	3				
	リモートセンシング	火	1				
	天文学	火	2				
	多文化コミュニケーションA	火	2				
	物理学A(安食教授)	木	1				
	物理学A(井上准教授)	木	1				
	電磁気学 I	木	2				
	欧米文化研究	金	2				
	歴史学	金	3				
教養ゼミナールA	金	4					
大学院	音楽とデザイン特論	木	D 5				
埼玉工業大学	機械工学概論	木	4	1時限 9:10~10:50 2時限 10:55~12:35 3時限 13:20~15:00 4時限 15:05~16:45 5時限 16:50~18:30	対面授業 (状況により中止になる可能性あり)	10,000円	3月8日(金)
	工業法規	木	4				
	生態環境科学	木	1				
	生活の科学	木	4				
	デジタル回路	火	4				
	ICT概論	水	5				
	社会学概論	月	1				
産業心理学	木	1					
東都大学	生活科学	月	1	9:15~10:45	対面授業 (状況によりオンライン授業の可能性あり)	10,000円	2月15日(木)
	看護学概論	火	1	9:15~10:45			
	フランス語	木	4	14:55~16:25			
文京学院大学	保育内容総論	確定次第お知らせ		1限 9:10~10:40 2限 10:50~12:20 3限 13:10~14:40 4限 14:50~16:20 5限 16:30~18:00	対面授業 (オンラインまたは中止になる可能性あり)	10,000円	2月29日(木)
	保健医療と福祉						
	貧困に対する支援						
	知覚・認知心理学Ⅱ						
	地域社会学						
	比較文化論						
日本工業大学	人間工学	金	3	13:20~15:00	対面授業 (状況により変更や中止になる可能性あり)	10,000円	3月4日(月)
	電気情報工学の基礎	月	4	15:10~16:50			
	資源循環工学	月	3	13:20~15:00			
	制御工学Ⅱ	木	2	10:50~12:30			
	日本建築史	水	1	9:00~10:40			
淑徳大学	地域社会論	木	1	9:00~10:30	対面授業 (状況により受け入れ中止となる可能性あり)	10,000円	3月1日(金)
	身体と健康	金	1				
日本社会事業大学	子ども家庭福祉論Ⅰ	月	1	9:00~10:30	対面授業 (場合によって、オンライン授業との併用になる可能性あり)	7,500円	3月1日(金)
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	月	5	16:20~17:50			
	高齢者の理解と援助	金	3	13:00~14:30			
	心理学	金	4	14:40~16:10			
	社会的養護Ⅰ	金	4	14:40~16:10			

【協定大学一覧】

	大学名	所在地
1	聖学院大学	上尾市
2	日本薬科大学	伊奈町
3	尚美学園大学	川越市
4	東京国際大学	川越市
5	東邦音楽大学	川越市
6	ものづくり大学	行田市
7	埼玉県立大学	越谷市
8	文教大学	越谷市
9	国際学院埼玉短期大学	さいたま市大宮区
10	埼玉大学	さいたま市桜区
11	浦和大学	さいたま市緑区
12	城西大学	坂戸市
13	女子栄養大学	坂戸市
14	西武文理大学	狭山市
15	十文字学園女子大学	新座市
16	東京電機大学・大学院	鳩山町
17	埼玉工業大学	深谷市
18	東都大学	深谷市
19	文京学院大学	ふじみ野市
20	日本工業大学	宮代町
21	淑徳大学	三芳町
22	武蔵丘短期大学	吉見町
23	日本社会事業大学	東京都清瀬市

年間約700人の方々に受講していただき好評を得ています
皆様の御参加お待ちしております



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

【受講者の声】

- ・学ぶことは楽しいし、新しい発見がありました。
- ・大変よい機会を得ました。
- ・今まで参加した事のなかった講座を受け興味を持ちました。

【受講者の声】

- ・とても真面目に授業に取り組んでいる様子に感心し、なにか胸に熱いものを感じました。
- ・初めての受講でした。これを機に受講したい科目があれば挑戦したいと思います。

総合的なお問合せ先(お申込み先ではありません)
埼玉県福祉部高齢者福祉課 総務・高齢企画担当
電話:048-830-3263(直通)